

(掲載期間：平成21年3月1日～平成21年4月30日)

## 目次

◇学長就任に当たって…………… 1

◇平成20年度上越教育大学学位記授与式…………… 2

■学長告辞

◇平成20年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式…………… 5

■学長告辞

◇平成21年度上越教育大学大学院入学式…………… 7

■学長告辞

◇平成21年度上越教育大学入学式…………… 9

■学長告辞

◇学事…………… 11

- 大学院入学者選抜試験（後期募集）
- 学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）
- 大学院入学者選抜試験（教職大学院第2次募集）
- 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式
- 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式
- 平成20年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修
- 平成21年度新入生オリエンテーション
- 平成21年度新入生合宿研修
- 情報セキュリティ講習会
- 新入生ノートパソコン準備講習会

■平成21年度新入生図書館利用ガイダンス

■平成21年度文献の探し方ガイダンス

◇人事…………… 16

- 役員等紹介
- エンジン部門
- 人事異動
- 学内委員会等委員

◇一般通報事項…………… 54

- 役員会
- 教育研究評議会
- 経営協議会
- 教授会
- 学位記
- 退職者永年勤続表彰状授与式
- ファカルティ・ディベロップメント研修会
- 公開講座・免許法認定公開講座
- 訃報
- 海外渡航

◇関係資料…………… 67

- 平成21年度学校教育学部入学者選抜試験状況
- 平成21年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験状況

◇主要日誌…………… 70

# 学長就任に当たって

－ 輝き躍進し続ける教育系大学の星〈上教大の挑戦〉－

上越教育大学長 若井 彌一



## [全力で駆け抜けた30年]

平成20年10月4日、上越教育大学は、創立30周年記念式典を挙行了しました。

我々上越教育大学の教職員と学生は、昭和53年10月1日の設置、昭和56年4月の第1回学部生入学、昭和58年4月の第1回大学院生入学以来、今日まで、幾つかの重要な改革を試みつつ、教育と研究を使命とする大学の社会的責務を果たすべく、黙々とたゆまぬ努力を重ねて参りました。

幸いにも、「あれ（創立）から30年」の我々のひたむきな努力は、国内外の教育関係者（学校教員、教育研究者等）、教育行政関係者さらには、教育に関心を寄せる国民の皆さまに好意的に評価されてきました。

## [大学憲章と教育・研究の取り組み課題]

この好意的な評価に傲ったり、胡坐をかくのではなく、「上越教育大学憲章」（平成21年3月19日制定）に掲げた本学の精神と目標等を道標として、我々上越教育大学関係者は、互尊と互恵の心得を忘れることなく、さらに輝き続け教育系大学の星として、教員養成の実践と、教育に関する広範な先端的研究の推進に全力を挙げてチャレンジブルな取り組みを進めていきます。

教員養成の実践に関しては、教育者としての「使命感」・「人間愛」・「創造力」に溢れる小・中・高等学校、特別支援学校等の教員を育てることに力を注ぎます。平成20年度には、全国の教職課程を有する800余の大学・短大等のトップ集団（19大学）に加わって、教職大学院（専門職学位課程）を設置し、大学院レベルでの教員養成の新たな取り組みを開始しました。新潟県教育委員会、上越市教育委員会、妙高市教育委員会などその所管学校等との協力的連携の下、さらに他の県内外の教育委員会の協力を得ながら、全国の教員養成の実践的モデルの開発・提携が出来るよう取り組みを進めていきます。

次に、教育に関する研究に関しては、学校教育にかかる諸科学において、理論研究と実践研究を幅広く視野に入れて、それらの広範な研究の発展に努めるとともに、教育大学としての特色を発揮すべく、教育現場の課題に立脚し、教育現場に根ざした研究の推進に努めていきます。

## [社会貢献と大学運営の改善]

今日の大学は、社会への貢献という観点に基づく努力を忘れてはなりません。本学もその例外ではなく、大学としての説明責任、教育、学術研究機関としての取り組み状況の情報提供は勿論のこと、その成果を国内外に向けて積極的に発信することに努めます。また、単にサービスとしての貢献という発想ではなく、国際的な教師教育の充実と発展を睨んだ、方向性を明確にした取り組みを進めていきます。

以上に述べた教育、研究、社会貢献の諸課題は、大学運営が構成員の相互の人権の尊重（互尊）、そして、個性を生かした構成員の協力による成果を共に味わうこと（互恵）ができるという状態の下で、より効果的に達成されていくものと思われまますので、そのような大学運営の実現をめざして改善を進めていきます。大学及び法人の構成員の皆様の御理解と御協力を御願います次第です。

# 平成 20 年度上越教育大学学位記授与式

平成 20 年度の学位記授与式が 3 月 19 日（木）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、学生歌演奏、学位記授与、学長告辞、修了生代表答辞、来賓紹介と進行し、蛍の光をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

## 学 長 告 辞

学長 渡 邊 隆

本日ここに、修了を迎える皆さんに、心よりお祝いを申し上げます。

ところで、修士論文の出来映えはいかがでしたか。満足のいく物でしたでしょうか。あるいは、満足の域には達しないこともあるでしょう。それがまた皆さんにとって、とてもいいお土産だと私は思っています。ある意味、大学で過ごした意味もそこにあります。

さてこれから皆さんに、現代科学と教育について、「時」をキーワードにお話ししたいと思います。

私は、ときどき空を仰ぎ見ていると、その空間に吸い込まれそうになります。そしてその空間と同時そこに流れている「時」を意識します。

「時」というものは何でしょう。人の歴史の中で、はじめて「時」を認識したのはどんなときだったのでしょうか。一日がくり返しやってくること、そしてまた春・夏・秋・冬と巡りくる四季にそれを感じたのでしょうか。それとも農地で食物になるものをつくっているとき、種まきの時期、収穫の時期を知るための「時」だったのでしょうか。

「時」は、また私たち人間に夢を持たせてくれます。例えばハッブル望遠鏡の世界です。

地上約 600km 上空の軌道上を周回する宇宙望遠鏡です。この望遠鏡の映し出す宇宙は「時」をとめます。今から何十億年前の惑星の誕生をとらえた映像を映し出したり、数億年前の銀河の衝突の様子などを、私たちに報せてくれます。まさに「時」の魔術師です。

現代科学の中でも、「時」は、また特別の役割を果たしています。物理学では、物事の様子を  $(x, y, z)$  という座標でとらえます。それに時間軸を加えた四次元で世界を表現しています。

岩石の世界では、ひと味違う様相を見せます。岩石は普通簡単に曲がる物ではありません。しかし、地層の中に、大きく曲がっている岩石を観察できます。その代表的な物が、ヨーロッパアルプス山脈の大きく褶曲している岩石です。これは、数 100 万年の時をゆっくりとかけた結果、あの硬い岩石は破壊されずにしなやかに曲がってしまったのです。これもまた「時」の魔術でしょう。

また、地球 46 億年の歴史の中で大型生物が先カンブリア紀から古生代にかけて出現したのはわずか 6 億年前のことです。しかもその 6 億年前から現代までの歴史でさらに生物の大変遷がおこっています。約 500 万年前にホモサピエンスの祖先が現れ、やがて現代のヒトとなりました。

大学院時代に、高等学校で地学の講義をしたことがあります。ある授業で、類人猿とヒトの関係を授業で話しました。その授業のあと生徒の一人が深刻な顔をして私の所へやってきて言いました。「先生、僕はどうしてもあのチンパンジーが私の祖先とは思えません。」と。確かにそう感ずるのは当たり前のことです。しかし、ホモサピエンスの数100万年の長い時の歴史は類人猿からヒトへの変遷を示しているのです。

このように「時」は私たちに日常の感覚を超えて理解を求めてきます。

ところで、その「時」を人間は自分たちの生活の中にどう取り入れていったのでしょうか。人は正確に周期を刻むものを見つけ、そこに人の生活のリズムをのせてきました。暦は規則正しくめぐってくる月の満ち欠けや太陽の姿を基本に、太陰暦や太陽暦をつくり、日常の生活や人の歴史を積み重ねてきました。

時を刻む歴史は近代になって、より正確なものを求める方向に動いていきました。つまり私たちの日常の時間でさえ、一分一秒の正確さを要求していったのです。正確に時を刻む時計が高価で貴重なものの代表として生活の中に存在してきました。一ヶ月いや一年に何秒のずれとかを競う腕時計製造技術競争が始まっていきました。

それまでは鋼鉄でつくられた「ぜんまい」を利用していた時の刻みは、やがて鉱物の振動を用いる科学技術を産みだしました。いわゆる水晶発振による「クォーツ」時計です。これにより、腕時計の正確さは一段の進歩を遂げたのです。その科学の延長がセシウムの原子振動を利用した、現代で最も正確な原子時計です。しかし腕時計の正確さは、どんなに時を刻む部分が正確さを増しても、それを針や表示に伝えるメカニズムの部分がそれに合わせての精度を持たねば、正確さは深まらないのです。

メカニズムは歯車を中心とした、いわゆる精密機械の分野の問題となります。世界の名巧をほこる技術者たちが日夜競いあい、摩耗を防ぐためにサファイヤやダイヤモンドを用いたり、より精巧なギヤづくりのための新しい素材づくりまでに発展していきました。その競争は腕時計業界のめざましい発展につながりました。しかし年間1~2秒の誤差までには達しましたが、それから先のステップはなかなか難儀でした。

一方、科学の進歩はめざましく、特に20世紀後半から21世紀には、人は地球から宇宙に飛び出していきました。ついに地球に人工衛星をつくるまでになり、私たちは地球の周りにいくつもの月を持つこととなりました。その衛星は地球全体を一目で見ることが出来る基地となりました。もし原子時計の情報をその基地から地球全体に発信できたら、どうなるでしょうか。それは受信機をもつものなら、原子時計レベルの精密な時が、いつでもどこでも得られるということです。

すると“時計”の精度競争の様相が変わってきます。精密な時刻データが空から得られるとすると、修正メカニズムを時計につけることで、すべては解決されてしまうのです。こうして現在私たちは、快適な電波時計を楽しむことが出来るのです。

つまり「時計のメカニズム競争」が“宇宙衛星技術”によって、予想もしなかった新しい方向での解決となったのです。これは私たちがものごとを考え、工夫し、議論していき、困難に当たったとき、その解決の糸口はそのシステムとは別のシステムからのヒントが重要であることを示唆しています。

これからの科学技術は多方面に同時多発的に、展開していくでしょう。直接関連のある分野ばかりではなく、そのちょっと隣にある分野にも私たちの直面する問題解決へのヒントがあるということです。こうした傾向が現代科学の特性となってくるのではないのでしょうか。私たちは、将来を担う子どもたちに、この科学の特性を伝えていかねばなりません。「知」の財産を伝えていくという教育の大切な仕事の中で、科学の大きな動きも教育の中に取り入れて行かねばならないでしょう。そうした視点の教育が次世代を担う子どもたちに展開されることを強く希望してやみません。

私たちの携わる“教育”という歴史は、時の大きな流れの中に生まれ、成長して文化となったものです。その教育の輪は私たち一人一人のヒトが語り伝えていく文化の輪なのです。ヒトは地球を共有し、ヒトとの交流を通して文化を味わうという生物なのです。その文化と歴史の輪をもうひとつ長くつないでいく仕事、それが教育者の仕事なのだと思えます。

皆さんは、この上越教育大学で学んだ経験をこれからの人生に生かしてほしい。そして、これからも常に「教育とは何か」を問い続けてほしい。それが私の願いです。

輝かしい皆さんの将来を期待して、告辞とします。



## 平成 20 年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式

平成 20 年度の卒業証書・学位記授与式が 3 月 19 日（木）午前 11 時 30 分から本学講堂で举行された。式は、学生歌演奏、卒業証書・学位記授与、学長告辞、卒業生代表答辞、来賓紹介と進行し、蛍の光をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

### 学 長 告 辞

学長 渡 邊 隆

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。上越教育大学に入学してから 4 年が過ぎ、本日見事に、卒業の日を迎えられました。心よりお祝いを申し上げます。

学生生活の楽しさは一生の宝です。この 4 月から社会人として第一歩を踏みだしますが、その宝が皆さんを支えてくれます。

さて、これから皆さんに、地球と岩石とヒトの話をしたしたいと思います。私たちは、太陽系の地球という水の惑星に暮らしています。地球は、単純に表現をすれば、岩石の集まりです。そして、その岩石は鉱物の集合体です。

地球内部で、十分な化学成分と温度と圧力が与えられると、その条件にあった、特有の鉱物が生成されます。しかも鉱物は、与えられた時間に比例して大きく成長します。

地球の表層で、一番多い岩石は何かご存じでしょうか。それは花崗岩質の岩石なのです。花崗岩に代表されるこの岩石は、私たちの身の回りでも多く見ることができます。私たちはこの岩石を“みかげ石”とも呼んでいます。代表的な建築素材で、フロアや壁によく用いられている、一見「グレー」、よく近くで見ると、ごま塩状の粒状の鉱物の集まりの岩石です。

この花崗岩もマグマから生まれる岩石です。マグマの温度が低下してくると、それぞれの温度に対応した鉱物の結晶の核が生成され、その核は結晶成長し、その鉱物特有の結晶形をもった粒子として生まれてくるのです。したがってマグマがドロドロの状態から冷えて固まるまでの間に、温度に対応した何種類かの鉱物が次々と、マグマの溶液から晶出してきて、岩石を作るのです。

花崗岩の場合は、温度が下がってくると、まず輝石、次が角閃石で、そして雲母類が晶出してきます。この段階では、マグマの中に自由な空間がまだありますので、自分固有の結晶として、キラキラとした結晶面をもつ大きな鉱物として晶出することが出来ます。

さらにマグマの温度が下がると、これまでにいろいろな化学組成を使って何種類もの鉱物をつくってきたので、マグマにはほんの簡単な化学成分しか残っていません。それは、酸化ケイ素：SiO<sub>2</sub> と水：H<sub>2</sub>O のみです。その最終段階では、それまでに形づくられた輝石、角閃石や雲母などの結晶粒子を支えるわずかに残っているマグマの空間をうめるように、その残液は固まるのです。したがって最後に生まれてくる鉱物は、自分の自由な結晶成長の時間も十分に持たず、細粒の結晶としてその残った空間を埋めつくすのです。それが SiO<sub>2</sub> を主成分とした鉱物：石英なのです。

このプロセスの履歴は、しっかりと石英の結晶の中に残っております。偏光した光を通すと、海のさざ波のようにパラパラと波動の消光をするのです。これはとても細かい結晶が一方向に統一されず、いろいろな方向をむいて岩石の中に存在していることを示しているのです。

地球上には、花崗岩以外にも多くの岩石があり、それぞれがこうした生成プロセスを持っています。岩石は、大陸や海洋底を作り、地球を構成しています。

このように地球には物質の歴史がありますが、興味ある生命の歴史をもつ惑星でもあります。地球は46億年の歴史を持つ惑星ですが、最初の生命体の出現は、なんと35億年前になります。三葉虫のような大型生物の出現したのは、わずか6億年前のことです。生物の生活圏は海に始まり、やがて陸そして空に移りました。同時に、えら呼吸から肺呼吸へと機能を高め、脳も大きく発達してきて、やっと人類の登場になったのです。それが今からわずか、500万年前のことです。ヒトは母体の中で、ホモサピエンスの系統発生の歴史を受け継ぎ、一つの個体として生まれてきます。父母のDNAを受け継ぎ、一人の個性ある人間として生まれてきて、地球上で暮らしています。

こうした物質と生命の歴史を持った地球という舞台で人は時を刻み、文化を創ってきたのです。この事実をよく理解し、46億年の歴史を持つ地球の運命を少しでも長く継続させるための努力が教育の大きな目的でなければなりません。核による破壊や自然環境の破壊をさけるための努力と異文化を理解し共存しあうために、寛容と調和というキーワードを忘れてはなりません。この地球を未来に受け継ぐこと、それが教育の大きな目的です。

皆さんは、上越教育大学を今日卒業します。「教育」を得意分野の一つとした人生を送ってほしい。得意分野にするということは、それを問い続けることです。子どもたちとその将来のためにという思いが、それを可能にします。その人間愛こそ「教育」の力となるでしょう。

皆さんの将来に期待して、私の告辞といたします。



# 平成 21 年度上越教育大学大学院入学式

平成 21 年度の大学院入学式が 4 月 8 日（水）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。

式は、学園歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓祝辞、役職員紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

## 学 長 告 辞

学長 若 井 彌 一

ただいま、入学許可された大学院修士課程 232 名、専門職学位課程 51 名の皆さん、厳しい「研究と修養」の門をくぐられたことに心から敬意を表し、歓迎の辞を述べたいと思います。

これだけ多くの大学院生が上越教育大学大学院で「研究と修養」に励もうとしていることに非常に心強いものを感じると同時に、我々教職員一同は、皆さんが本学大学院について抱いている期待に応えていかなくてはならないと、改めて気持ちを引き締めているところであります。

皆さんを迎えるに当たり、今、教育系大学院に求められているのはどんなことかを述べ、皆さんの入学後の「研究と修養」にチャレンジしていく際の参考に供したいと思います。

概略は皆さんもご承知のことと思いますが、平成 18 年 7 月に公表された中央教育審議会の答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」は、これまでの教員養成と教員免許の制度と内容について、強く見直しを迫るものでありました。そして、一部に批判的な見解が見られたものの、結局答申で提起されている主要事項については、制度化されるための法令整備が行われました。専門職大学院設置基準の一部改正・教育職員免許法の一部改正等です。

従来、または現行の仕組みや制度を改革する場合に、改革を迫られる当事者は一般的に「歓迎」よりは「反対」の立場をとり易いことは何の分野でも似ています。改革を進めようとする提案が全面的に正しいとは限りませんが、改革を促す背景があることも事実です。今回の中央教育審議会答申では、一つは、免許更新制の導入、二つ目に、教職実践演習科目の導入、三つ目に、教職大学院制度の創設が提起されていたのですが、教育現場の先生方にとって、反対または批判的な見解が多く見られたのは免許更新制の導入であり、大学の教員養成に携わっている先生方にとっては、教職実践演習科目の導入が批判の対象となり、教職大学院制度の創設については、その効果を疑問視する人々がいてもそれほど積極的批判は見られなかったのは予想されたところでありました。

いずれにしても、改革政策が 100%正しいとは限らないし、反対意見が正しいとも断定できません。改革に次ぐ改革の時代にあっては、どちらがより正しいかという判断も教育現場に求められるため、教育を安定した状態で行っていくという点では、必ずしもよいこととは言えません。しかし、この状況から関係なく我が大学だけが超然としている訳にはいきません。したがって、本学においても、改革政策の何が真に必要であり、何がそれほど必要ではないのかを慎重に見極めながら必要とされる内容については果敢に取組をしていくことが肝要です。

皆さんは、大学院でどんな力を付けたいと考えて本学の大学院の門をくぐったのでしょうか。その期待は様々であって当然なのですが、一つだけ明確に自覚しておかなくてはならないことがあります。それは、皆さんに期待されているのは、最近強調されている学部レベルの「学士力」ではなく、大学院修士、専門職学位の課程で研究と修養に努めたことの証であると説明し得る「一段と高度の力」を身に付けるのだということです。

言うことは簡単ですが、これを実践または実行することは簡単ではありません。でも恐れなくてください。この大学院に入学すれば多くの人は 2 年または 3 年の挑戦で相当に高度なレベルにまで到達するのです。我々は、皆さんがその可能性を十分に秘めていると思っております。教育の専門職としての力量を身に付けた



皆さんには、日本の教育界を力強くリードしていくことが期待されています。その時代的かつ社会的期待に応えるべく、互いに励まし合いながら、徹底的に「研究と修養」に励んでくださることを切に願うものであります。

大学院生活が実り多いものとなることを祈念して歓迎の辞と致します。



# 平成 21 年度上越教育大学入学式

平成 21 年度の学部入学式が 4 月 8 日（水）午後 0 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、学園歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓祝辞、役職員紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。学長告辞は次のとおりである。

## 学 長 告 辞

学長 若 井 彌 一

ただ今、170 名の新入生の皆さん。ようこそ上越教育大学へ。心から歓迎を致します。キャンパス内のさくからも、歓迎するかの如く咲き始めました。保護者の皆様、子供さんの努力が実って無事入学し、本日を迎えられたことを、心からお慶びを申しあげます。晴れ姿に、さぞ御満足されていることと存じ上げます。

さて、私は、本日、新入生の皆さんに四つの期待を申し述べたいと思います。

その一は、部活動をするか否かに関係なく、毎日、健康のための体操か運動を継続し、強い健康体の持ち主になって欲しいということです。健康は、充実した人生を送るための最重要な要件であります。継続しないと力は付きません。継続を心掛けてください。

その二は、ほどほどの読書を心掛けて、思索することを楽しんで欲しいということです。読書記録を付けてみることも皆さんの学生生活を大いに充実させてくれるでしょう。私は、学生の頃、たまたま読んだ、岸本英夫という人の『死を見つめる心』（講談社、1964 年）に大変大きな影響を受けました。岸本英夫（1903～1964 年）は、東大の教授として、比較宗教学の研究者、さらに学内的には附属図書館長として活躍した人です。

この『死を見つめる心』という本は、岸本英夫が五十一歳のとき、スタンフォード大学の客員教授として米国滞在中にがんの宣告をされてから、苦悩しながら必死に生き抜いた生きざまを綴った一冊です。当時、私は涙をおさえながら読んだことを思い出します。この人の生き様に「すごい人がいるんだ」と圧倒されたものです。

その三は、全国の様々な土地で育った人たちが集まっている本学の特色を生かし、良い人間関係を築いて欲しいということです。広域分布型の教育大学は全国的に見ても少数に属します。授業では得られない貴重な財産を友達関係の構築によって得ることができます。

その四は、「教育」という営みについて、今、どんなことが起きているのか、なぜ問題になっているのか、などに関心を持って生活をして欲しいということです。必要に応じて歴史的なことを調べたければ、図書館を利用してください。総数約 30 万冊の図書を本学の図書館は備えております。

また、インターネットを活用して、皆さんの疑問や関心をより広範なものに拡充してくれることを願っております。

本学の図書館利用は非常に活発であり、全国的に見ても高水準に位置していると想定されます。図書館の利用については、「習うより慣れよ」 Practice makes Perfect ! の心構えで気軽に、頻繁に利用するように心掛けることをおすすめします。

以上、四つのことを期待として申し述べました。これを参考にして、これからの4年間の大学生活を楽しくまた充実感の持てるものにしていかれることを願って歓迎の言葉といたします。最後に、教育系大学の中では、高い評価を得てきている本学で、必ずや入学生の皆さんが力を付けていけるように、我々教職員一同、全力を尽くして参る覚悟であります。保護者の皆様の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。



# 学 事

## ○大学院入学者選抜試験（後期募集）

平成21年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（後期募集）を次のとおり実施した。

修士課程は、募集人員 65人（学校教育専攻 22人，教科・領域教育専攻 43人）に対し，応募者 49人，合格者 38人であった。

専門職学位課程（教職大学院）は，募集人員 28人（教育実践高度化専攻 28人）に対し，応募者 6人，合格者 4人であった。

入学願書受付 平成21年2月2日（月）～2月12日（木）

入学者選抜試験 平成21年3月6日（金）

合格者発表 平成21年3月23日（月）

## ○学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）

平成21年度学校教育学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）を次のとおり実施した。

募集人員33人に対し，応募者231人，合格者46人であった。

入学願書受付 平成21年1月26日（月）～平成21年2月4日（水）

入学者選抜試験 平成21年3月12日（木）

合格者発表 平成21年3月23日（月）

## ○大学院入学者選抜試験（教職大学院第2次募集）

平成21年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（専門職学位課程（教職大学院）第2次募集）を次のとおり実施した。

募集人員10人に対し，応募者2人，合格者2人であった。

入学願書受付 平成21年3月12日（木）～3月16日（月）

入学者選抜試験 平成21年3月25日（水）

合格者発表 平成21年3月27日（金）

## ○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成20年度学位記授与式が平成21年3月24日（火）に兵庫教育大学において行われた。

なお，修了者13人のうち，本学の配属学生は4人である。

## ○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成21年度入学式が平成21年4月10日（金）に兵庫教育大学において行われた。

なお，入学者32人のうち，本学の配属学生は10人である。

### ○平成20年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修

本学と課外活動団体のリーダーが、その任務を深く認識し、意見交換を通して、リーダーとしての基本的知識の修得を図るとともに、課外活動団体相互の親睦と理解に基づき、課外活動の発展向上を目的として実施した。

期 日 平成21年3月9日（月）・10日（火）（1泊2日）

場 所 国立妙高青少年自然の家

参加人員 学 生 40団体97人

教職員 11人



### ○平成21年度新入生オリエンテーション

期日 平成21年4月8日（水）・9日（木）

場所 講堂，講義棟301教室 ほか

内容 〈学部〉

大学教育，教育課程と履修方法，海外教育研究，クラス担当教員による指導，学生指導，保健管理センター ほか

〈大学院〉

大学院の教育・研究，教育課程と履修方法，海外教育特別研究，個別指導，学生指導，保健管理センター，就職指導 ほか



## ○平成21年度新入生合宿研修

入学後間もない時期に集団活動（生活）を通じて、新入学生相互並びに教職員との親和を図り、お互いの理解を深め、その後の学業上・生活上の安定・充実を図ることを目的として実施した。

期 日 平成21年4月24日（金）・25日（土）（1泊2日）

場 所 国立妙高青少年自然の家

参加人員 1年次学生 168人

教職員 27人



## ○情報セキュリティ講習会

新入生及び在學生と教職員を対象として、大学生活において安全にコンピュータを利用するために必要不可欠である、「情報セキュリティ対策」に関して以下のとおり講演会を実施した。

期 日 : 平成 21 年 4 月 15 日 (水)

場 所 : 講 堂

講習内容 : 「情報セキュリティ対策 入門」  
1) ウイルス対策の重要性と対策ソフトの活用  
2) ソフトウェアアップデートの必要性  
3) 学内におけるネットワーク障害の事例 等

講 師 : 情報メディア教育支援センター 講師 高野 浩志

参加人員 : 学部新入生 : 159 人 / 大学院新入生 : 123 人 / 在學生 14 人 / 教職員 8 人



情報セキュリティ講習会

### ○新入生ノートパソコン準備講習会

新入生が各自の所有するノートパソコンを、学内において活用できるようサポートするため、次のとおり講習会を実施した。

- 期 日 : 平成 21 年 4 月 13 日(月)～17 日(金), 20 日(月)～24 日(金)  
場 所 : 教育情報訓練室 2, 情報演習自習室 他  
講習内容 : 1) アンチウイルスソフトの導入及びチェックの方法  
2) ネットワーク接続の方法  
3) ポータルサイト, Web メール, 講義支援システムの利用方法 等  
参加人員 : 学部新入生 161 人, 大学院新入生 93 人



新入生ノートパソコン準備講習会

### ○平成 21 年度新入生図書館利用ガイダンス

新入生に、図書館内の案内および図書自動貸出装置・蔵書検索の利用方法を説明した。

- 期 日 4 月 9 日(木)～16 日(木)の平日 各 1 回 30 分 (15 日のみ 2 回)  
参加人数 合計 62 人

### ○平成 21 年度文献の探し方ガイダンス

マルチメディアコーナーのパソコンおよび無線 LAN を利用して、蔵書検索(OPAC, Webcat), CiNii の実習及び文献複写依頼・図書の借受方法を指導した。

- 期 日 4 月 15 日(水)～24 日(金)の平日 各日 14:00～14:50, 16:00～16:50  
参加人数 合計 50 人



# 人 事

## ○役員等紹介

役 職	氏 名	任 期	経 歴
学 長	わかい やいち 若 井 彌 一	平成21年4月1日 ～ 平成25年3月31日	昭和48年4月 東北大学教育学部助手 昭和53年2月 仙台大学講師 昭和54年4月 仙台大学助教授 昭和58年4月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成5年4月 上越教育大学学校教育学部教授 平成19年4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成21年4月 国立大学法人上越教育大学長
理 事	ときた よしのぶ 戸 北 凱 惟	平成21年4月1日 ～ 平成23年3月31日	昭和44年4月 新潟大学教育学部助手 昭和48年4月 新潟大学教育学部講師 昭和50年9月 新潟大学教育学部助教授 昭和58年4月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成元年4月 上越教育大学学校教育学部教授 平成5年4月 上越教育大学学校教育学部附属小学校長 平成15年4月 上越教育大学学校教育総合研究センター長 平成16年4月 上越教育大学副学長 平成21年4月 国立大学法人上越教育大学理事
理 事	しんたく てつえ 新 宅 鉄 衛	平成21年4月1日 ～ 平成23年3月31日	昭和44年6月 山口大学 昭和47年5月 文部省 昭和54年11月 国立特殊教育総合研究所 昭和58年4月 文部省 平成3年4月 国立教育研究所 平成6年4月 日本体育・学校健康センター 平成9年4月 文部省 平成12年4月 滋賀医科大学総務部長 平成14年4月 東京学芸大学経理部長 平成16年1月 独立行政法人国立少年自然の家 国立吉備少年自然の家所長 平成18年4月 国立大学法人上越教育大学理事
理 事 (非常勤)	おばら よしあき 小 原 芳 明	平成21年4月1日 ～ 平成23年3月31日	昭和48年4月 玉川学園女子短期大学教養科助手 昭和56年4月 玉川大学文学部専任講師 昭和59年4月 玉川大学文学部助教授 昭和62年4月 玉川大学文学部教授 平成6年4月 学校法人玉川学園理事長 平成6年4月 学校法人玉川学園学園長 平成6年4月 玉川大学学長 平成12年4月 上越教育大学運営諮問会議委員 (～平成16年3月) 平成21年4月 国立大学法人上越教育大学理事

役 職	氏 名	任 期	経 歴
副学長	かとう やすき 加 藤 泰 樹	平成21年4月1日 ～ 平成23年3月31日	昭和62年4月 東京家政学院短期大学講師 平成2年9月 上越教育大学学校教育学部講師 平成4年9月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成13年8月 上越教育大学学校教育学部教授 平成15年4月 上越教育大学学校教育学部附属小学校長 平成19年4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成19年4月 上越教育大学学校教育総合研究センター長 平成20年4月 上越教育大学学校教育実践研究センター長 平成21年4月 上越教育大学副学長
副学長	かわさき なおや 川 崎 直 哉	平成21年4月1日 ～ 平成23年3月31日	昭和56年4月 高知大学教育学部助手 昭和57年4月 高知大学教育学部助教授 平成2年9月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成9年2月 上越教育大学学校教育学部教授 平成13年4月 上越教育大学情報処理センター長 平成16年4月 上越教育大学副学長
副学長	さとう よしのり 佐 藤 芳 徳	平成21年4月1日 ～ 平成23年3月31日	昭和56年4月 宇都宮大学教育学部助手 昭和62年4月 上越教育大学学校教育学部講師 平成元年4月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成11年4月 上越教育大学学校教育学部教授 平成19年4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成19年4月 上越教育大学附属小学校長 平成21年4月 上越教育大学副学長
副学長	しもにし ぜんざぶろう 下 西 善三郎	平成21年4月1日 ～ 平成23年3月31日	昭和51年4月 福井県立敦賀工業高等学校教諭 昭和53年4月 北陸学院高等学校教諭 昭和57年4月 北海道教育大学教育学部函館分校講師 昭和60年4月 北海道教育大学教育学部函館分校助教授 昭和63年9月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成9年8月 上越教育大学学校教育学部教授 平成15年4月 上越教育大学学校教育学部附属実技教育研究 指導センター長 平成19年4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成19年4月 上越教育大学附属中学校長 平成21年4月 上越教育大学副学長

○エンジン部門

総合企画室等の室員名簿

名 称	教 員 等	事務系職員	支援部署	備 考
1. 総合企画室 室長：下西副学長	○下 西 善三郎 川 崎 直 哉  (※検討事項により スポットで追加)	亀 井 宣 幸 鉄 本 清 隆 細 谷 敏 明 渡 邊 茂 康	企画室	
2. 評価支援室 室長：川崎副学長	○川 崎 直 哉 野 村 眞木夫 西 村 俊 夫 松 本 修 天 野 和 孝 下 村 義 夫 光 永 伸一郎 杉 浦 英 樹 河 合 康 茨 木 智 志	亀 井 宣 幸 鉄 本 清 隆 安 田 誠	企画室	
3. 知的財産本部 本部長：下西副学長	○下 西 善三郎 黎 子 椰 光 永 伸一郎 安 部 泰	池 田 健 助 恩 田 義 孝	研究連携室	
4. 地域連携推進室 室長：戸北理事	○戸 北 凱 惟 藤 岡 達 也 加 藤 哲 文	佐 藤 誠 一 小 山 公 一 佐 藤 裕 子	研究連携室	
5. 国際交流推進室 室長：戸北理事	○戸 北 凱 惟 加 藤 雅 啓 五十嵐 透 子 小 埜 裕 二	中 道 公 壽 田 上 弘 美 伊 藤 孝 之	研究連携室	

○人事異動

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	<b>役 員</b>			
H21. 3. 31	任期満了		渡 邊 隆	学長
	任期満了		高 田 喜久司	理事
	任期満了		加 藤 章	理事
H21. 4. 1	任 命	学長	若 井 彌 一	教授（学校教育学系）
	任 命	理事	戸 北 凱 惟	副学長
	任 命	理事	新 宅 鉄 衛	理事
	任 命	理事	小 原 芳 明	玉川大学長
	<b>部局長等</b>			
H21. 3. 31	任期満了		戸 北 凱 惟	副学長
H21. 4. 1	任 命	副学長	加 藤 泰 樹	教授（芸術・体育教育学系）
	任用更新	副学長	川 崎 直 哉	副学長
	任 命	副学長	佐 藤 芳 徳	教授（人文・社会教育学系）
	任 命	副学長	下 西 善三郎	教授（人文・社会教育学系）
	任 命	経営協議会委員	若 井 彌 一	学長
	任 命	経営協議会委員	戸 北 凱 惟	理事
	任 命	経営協議会委員	新 宅 鉄 衛	理事
	任 命	経営協議会委員	下 西 善三郎	副学長
	任 命	経営協議会委員	川 崎 直 哉	副学長
	任 命	経営協議会委員	立屋敷 かおる	教授（自然・生活教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	若 井 彌 一	学長
	任 命	教育研究評議会評議員	戸 北 凱 惟	理事
	任 命	教育研究評議会評議員	加 藤 泰 樹	副学長
	任 命	教育研究評議会評議員	川 崎 直 哉	副学長
	任 命	教育研究評議会評議員	佐 藤 芳 徳	副学長
	任 命	教育研究評議会評議員	下 西 善三郎	副学長・附属図書館長
	任 命	教育研究評議会評議員	増 井 三 夫	教授（学校教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	加 藤 哲 文	教授（臨床・健康教育学系）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	任 命	教育研究評議会評議員	松 田 慎 也	教授（人文・社会教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	立屋敷 かおる	教授（自然・生活教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	後 藤 丹	教授（芸術・体育教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	藤 岡 達 也	教授「学校教育専攻」
	任 命	教育研究評議会評議員	野 村 眞木夫	教授「教科・領域教育専攻」
	任 命	教育研究評議会評議員	小 林 辰 至	教授「教育実践高度化専攻」
	任 命	教育研究評議会評議員	天 野 和 孝	教授（自然・生活教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	溝 上 武 實	教授（自然・生活教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	新 宅 鉄 衛	事務局長
	任 命	教育研究評議会評議員	中 道 公 壽	学務部長
	兼 務	附属図書館長	下 西 善三郎	副学長
	兼 務	学校教育実践研究センター長	加 藤 雅 啓	教授（人文・社会教育学系）
	兼 務	保健管理センター所長	上 野 光 博	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	情報メディア教育支援センター長	南 部 昌 敏	教授（学校教育学系）
	兼 務	心理教育相談室長	内 田 一 成	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	特別支援教育実践研究センター長	齋 藤 一 雄	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	附属幼稚園長	丸 山 良 平	教授（学校教育学系）
	兼 務	附属小学校長	林 泰 成	教授（学校教育学系）
	兼 務	附属中学校長	天 野 和 孝	教授（自然・生活教育学系）
	兼 務	学校教育学系長	増 井 三 夫	教授（学校教育学系）
	兼 務	臨床・健康教育学系長	加 藤 哲 文	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	人文・社会教育学系長	松 田 慎 也	教授（人文・社会教育学系）
	兼 務	自然・生活教育学系長	立屋敷 かおる	教授（自然・生活教育学系）
	兼 務	芸術・体育教育学系長	後 藤 丹	教授（芸術・体育教育学系）
	兼 務	学校教育専攻長	藤 岡 達 也	教授「学校教育専攻」
	兼 務	教科・領域教育専攻長	野 村 眞木夫	教授「教科・領域教育専攻」
	兼 務	教育実践高度化専攻長	小 林 辰 至	教授「教育実践高度化専攻」
	兼 務	広報室長	戸 北 凱 惟	理事

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H21. 3. 31	学長特別補佐 任期満了 任期満了		水 原 健 二 臼 杵 美由紀	学長特別補佐（戦略担当） 学長特別補佐（国際交流担当）
H21. 3. 30	退 職	（上越市立大町小学校教諭）	古 閑 晶 子	特任准教授（学校教育実践研究センター）
H21. 3. 31	定年退職		阿 部 勲	教授（学校教育学系）
	定年退職		大 山 美和子	教授（学校教育学系）
	定年退職		鈴 木 敏 紀	教授（人文・社会教育学系）
	定年退職		森 川 鐵 朗	教授（自然・生活教育学系）
	定年退職		西 山 保 子	教授（自然・生活教育学系）
	定年退職		室 谷 利 夫	教授（自然・生活教育学系）
	定年退職		庭 野 義 英	教授（自然・生活教育学系）
	定年退職		風 卷 孝 男	教授（芸術・体育教育学系）
	退 職	北海学園大学経済学部教授	荻 原 克 男	教授（学校教育学系）
	退 職		藤 澤 郁 夫	教授（人文・社会教育学系）
	退 職		茂手木 潔 子	教授（芸術・体育教育学系）
	退 職	日本大学准教授	下 司 晶	准教授（学校教育学系）
	任期満了		細 谷 一 博	特任講師（特別支援教育実践研究センター）
	任期満了		加 藤 哲 則	特任講師（特別支援教育実践研究センター）
H21. 4. 1	採 用	教授（学校教育学系）	結 城 忠	
	採 用	教授（学校教育学系）	石 野 正 彦	上越市教育委員会学校教育課副課長
	昇 任	教授（学校教育学系）	内 藤 美 加	准教授（学校教育学系）
	昇 任	教授（臨床・健康教育学系）	五十嵐 透 子	准教授（臨床・健康教育学系）
	昇 任	教授（人文・社会教育学系）	浅 倉 有 子	准教授（人文・社会教育学系）
	昇 任	教授（自然・生活教育学系）	光 永 伸一郎	准教授（自然・生活教育学系）
	昇 任	教授（芸術・体育教育学系）	平 野 俊 介	准教授（芸術・体育教育学系）
	昇 任	教授（芸術・体育教育学系）	高 石 次 郎	准教授（芸術・体育教育学系）
	採 用	准教授（学校教育学系）	白 木 みどり	白山市立笠間中学校教諭
	採 用	准教授（学校教育学系）	古 閑 晶 子	（上越市立大町小学校教諭）
	職務復帰	（育児休業期間満了）	佐久間 亜 紀	准教授（学校教育学系）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	採 用	准教授（学校教育学系）	五十嵐 素 子	光陵女子短期大学国際コミュニケーション学 科准教授
	採 用	准教授（自然・生活教育学系）	濤 崎 智 佳	
	採 用	准教授（自然・生活教育学系）	宮 川 健	
	採 用	准教授（芸術・体育教育学系）	五十嵐 史 帆	国立大学法人広島大学大学院教育学研究科准 教授
	昇 任	准教授（芸術・体育教育学系）	松 尾 大 介	講師（芸術・体育教育学系）
	採 用	講師（学校教育学系）	奥 村 太 一	
	採 用	講師（臨床・健康教育学系）	角 田 智恵美	九州女子短期大学養護教育科講師
	採 用	講師（人文・社会教育学系）	吉 田 昌 幸	
	採 用	講師（自然・生活教育学系）	谷 友 和	
	採 用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	中 野 博 幸	上越市立宝田小学校教頭
	採 用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	渡 辺 径 子	糸魚川市立中能生小学校教諭
	配 置 換	特任准教授（学校教育実践研究センター）	清 水 雅 之	附属小学校指導教諭
	採 用	特任講師（人文・社会教育学系）	Brown, Ivan Bernard	外国人教師
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻生活・健康系コー ス」	加 藤 泰 樹	副学長
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻生活・健康系コー ス」	川 崎 直 哉	副学長
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻社会系コース」	佐 藤 芳 徳	副学長
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻言語系コース」	下 西 善三郎	副学長
	兼務解除	教授（学校教育実践研究センター）	梅 野 正 信	教授（学校教育学系）
	兼 務	教授（学校教育実践研究センター）	川 村 知 行	教授（学校教育学系）
	兼 務	教授（学校教育実践研究センター）	小 林 辰 至	教授（自然・生活教育学系）
	兼 務	教授（学校教育実践研究センター）	石 野 正 彦	教授（学校教育学系）
	兼 務	教授（学校教育実践研究センター）	朝 倉 啓 爾	教授（学校教育学系）
	<b>附属教員</b>			
H21. 3. 30	退 職	（上越市立城西中学校教諭）	廣 川 正 文	附属中学校副校長
H21. 3. 31	退 職	上越市立南川小学校長	西 澤 可江子	附属幼稚園副園長
	退 職	糸魚川市立中能生小学校教諭	江 戸 大 輔	附属幼稚園教諭
	退 職	長岡市立西谷小学校教頭	泉 豊	附属小学校主幹教諭
	退 職	新潟市立亀田西小学校教頭	福 原 清 訓	附属小学校教諭

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H21. 4. 1	退 職	十日町市立田沢小学校教諭	恩 田 忍	附属小学校教諭
	退 職	刈羽村立刈羽中学校教頭	鈴 木 克 典	附属中学校主幹教諭
	退 職	十日町市立松代中学校教諭	吉 楽 均	附属中学校指導教諭
	退 職	上越市立城北中学校養護教諭	矢 沢 智 子	附属中学校養護教諭
	採 用	附属幼稚園副園長	小 出 佳 子	糸魚川市立木浦小学校校長
	採 用	附属幼稚園教諭	小 壘 和 弘	上越市立春日小学校教諭
	昇 任	附属小学校主幹教諭	松 岡 博 志	附属小学校教諭
	配 置 換	附属小学校指導教諭	青 木 弘 明	附属小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	有 坂 一 郎	上越市立高志小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	藤 城 真 二	長岡市立表町小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	高 橋 栄 介	糸魚川市立下早川小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	北 原 さ や か	上越市立高志小学校教諭
	採 用	附属中学校副校長	藤 本 孝 昭	新潟市立下山中学校校長
	昇 任	附属中学校主幹教諭	宮 川 高 広	附属中学校教諭
	配 置 換	附属中学校指導教諭	尾 崎 誠	附属中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	池 村 和 重	上越市立直江津東中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	伊 藤 貴 史	柏崎市立第二中学校教諭
採 用	附属中学校養護教諭	高 瀬 育 子	柏崎市立第二中学校養護教諭	
H21. 3. 31	<b>事務系職員</b>			
	定年退職		西 條 江美子	学務部就職支援室長
	定年退職		江 口 清	総務部財務課契約チーム自動車運転手
	定年退職		船 越 幸 子	学務部学生支援課学生支援チーム准看護師
	退 職	国立大学法人富山大学財務部財務企画グループ長	霜 越 隆 晴	総務部財務課長
	退 職	国立大学法人山梨大学総務部人事課長	木 村 義 徳	学務部学生支援課長
	退 職	国立大学法人新潟大学人文社会・教育科学系学務課副課長（大学院）	中 川 則 之	学務部教育支援課副課長（教務推進担当）
H21. 4. 1	退 職	国立大学法人新潟大学学務部学生支援課奨学支援係長	山 岸 広 茂	学務部学生支援課学生支援チーム主査（主に奨学支援担当）
	在籍出向	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家事業支援課管理係	赤 井 一 繁	総務部財務課契約チーム
	兼 務 事務取扱	事務局長 総務部長事務取扱	新 宅 鉄 衛 新 宅 鉄 衛	理事 事務局長



発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	採 用	総務部財務課長	鉄 本 清 隆	国立大学法人筑波大学財務部財務管理課課長 補佐
	採 用	学務部学生支援課長	長 津 昭	独立行政法人国立工業高等専門学校機構群馬 工業高等専門学校学生課長
	昇 任	学務部就職支援室長	中 島 忍	広報室室長補佐
	復 帰	広報室室長補佐	石 田 芳 邦	国立大学法人新潟大学自然科学系学務課副課 長
	配 置 換	総務部総務課総務チーム	藤 田 健 仁	総務部施設マネジメント課施設チーム
	研修出向	文部科学省高等教育局	中 川 裕 介	総務部財務課財務・監査チーム
	担当命免	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に情 報企画担当）	藍 木 順 二	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に情 報担当）
	昇 任	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に情 報運営担当）	安 田 大 信	総務部総務課総務チーム主任
	復 帰	総務部財務課財務・監査チーム主査（主に財 務・監査担当）	米 内 治	独立行政法人国立工業高等専門学校機構長岡 工業高等専門学校総務課財務企画グループ係 長
	担当命免	総務部財務課経理チーム主査（主に経理謝金 担当）	池 田 彰	総務部財務課経理チーム主査（主に経理担 当）
	配 置 換	総務部財務課経理チーム主査（主に経理旅費 担当）	秋 山 由美子	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に企 画調査担当）
	配 置 換	総務部財務課契約チーム主任	村 椿 和 之	総務部財務課経理チーム主任
	復 帰	総務部財務課契約チーム主任	高 橋 信 寿	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙 高青少年自然の家事業支援課管理係主任
	再 雇 用	総務部財務課契約チーム	江 口 清	
	採 用	総務部財務課経理チーム	秋 山 裕 輝	
	配 置 換	総務部施設マネジメント課施設チーム主査 （主に固定資産管理担当）	松 崎 良 一	総務部財務課財務・監査チーム（主に財務・ 監査担当）
	配 置 換	学務部教育支援課教務支援チーム主査（主に 教務推進担当）	瀧 本 一 幸	学務部教育支援課教務推進チーム主査（主に 教務推進担当）
	配 置 換	学務部教育支援課学校連携チーム主査（主に G P支援担当）	飯 塚 章次郎	学務部教育支援課教務推進チーム主査（主に G P支援担当）
	配 置 換	学務部教育支援課教務支援チーム主任	岡 村 和 彦	学務部教育支援課教務推進チーム主任
	配 置 換	学務部教育支援課学校連携チーム主任	松 崎 富 江	学務部教育支援課教務推進チーム主任
	任期更新	学務部研究連携室研究連携チーム	稲 葉 幸 夫	学務部研究連携室研究連携チーム
	任期更新	学務部研究連携室研究連携チーム	池 田 健 助	学務部研究連携室研究連携チーム
	昇 任	学務部学生支援課学生支援チーム主査（主に 奨学支援担当）	瀧 本 理 恵	総務部財務課経理チーム主任

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	任期更新 再雇用	学務部学生支援課学生支援チーム 学務部学生支援課学生支援チーム	笹 川 和 博 船 越 幸 子	学務部学生支援課学生支援チーム
	<b>事務補佐員</b>			
H21. 3. 26	退 職	(期間満了)	阿 部 香緒里	総務部附属学校事務室附属学校チーム
H21. 3. 31	退 職	(期間満了)	岩 淵 貴要子	総務部総務課総務チーム
	退 職	(期間満了)	風 間 裕 子	総務部総務課人事・労務チーム
	退 職	(期間満了)	中 村 暁	総務部総務課人事・労務チーム
	退 職	(期間満了)	春 日 敏 江	総務部附属学校事務室附属学校チーム
	退 職	(期間満了)	新 田 絢	総務部財務課契約チーム
	退 職	(期間満了)	土 田 雅 子	総務部施設マネジメント課施設チーム
	退 職	(期間満了)	横 川 万里恵	学務部研究連携室研究連携チーム
	退 職	(期間満了)	FERRAN GALICIA FRANCESCA	学務部研究連携室研究連携チーム
H21. 4. 1	退 職	(期間満了)	大 越 道 子	学務部就職支援室就職支援チーム
	採 用	広報室	平 澤 まなみ	
	採 用	総務部総務課総務チーム	小 原 直 子	
	採 用	総務部総務課総務チーム	岩 野 智香子	
	採 用	総務部総務課人事・労務チーム	片 平 裕 美	
	採 用	総務部総務課人事・労務チーム	黒 田 美代子	
	採 用	総務部企画室企画・評価チーム	村 田 夏 子	
	採 用	総務部附属学校事務室附属学校チーム	大 島 絹 代	
	採 用	総務部財務課財務・監査チーム	久保田 真由美	
	採 用	総務部財務課契約チーム	森 田 百合子	
	採 用	総務部施設マネジメント課施設チーム	竹 田 真美子	
	採 用	学務部教育支援課教務支援チーム	梨 本 麻 礼	
	採 用	学務部教育支援課学校連携チーム	金 子 美 奈	
	採 用	学務部研究連携室研究連携チーム	川 瀬 直 美	
	採 用	学務部研究連携室研究連携チーム	高 澤 宏 有	
	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	西 山 絹 子	
	採 用	学務部入試課入試チーム	井 上 千 絵	
	採 用	学務部学術情報課学術情報チーム	竹 田 律 子	

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H21. 4. 3	採 用	総務部附属学校事務室附属学校チーム	尾 崎 英 子	総務部附属学校事務室附属学校チーム作業員
H21. 3. 31	退 職	(期間満了)	水 野 浩一郎	
H21. 4. 1	採 用	総務部附属学校事務室附属学校チーム作業員	水 澤 定 雄	学務部就職支援室就職支援チーム
H21. 3. 31	退 職	(期間満了)	白 川 ナツ子	
H21. 4. 15	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	朝比奈 ト ミ	
H21. 3. 31	特別支援教育事業推進コーディネーター 退 職	(期間満了)	嶋 田 沙 織	特別支援教育実践研究センター

## ○学内委員会等委員

教育研究評議会に置かれる委員会

### 大学改革委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
戸北 凱惟	理事	---		
新宅 鉄衛	理事	---		
加藤 泰樹	副学長	---		
川崎 直哉	副学長	---		
佐藤 芳徳	副学長	---		
下西善三郎	副学長	---		委員長
加藤 雅啓	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
天野 和孝	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
増井 三夫	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
加藤 哲文	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
松田 慎也	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
立屋敷かおる	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
後藤 丹	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
藤岡 達也	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
野村眞木夫	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
小林 辰至	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
溝上 武實	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
中道 公壽	学務部長	---		

以上18名

教育研究評議会に置かれる委員会

大学教員人材評価委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
川崎 直哉	副学長	---		
下西善三郎	副学長	---		
増井 三夫	学校教育学系長	---		
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---		
松田 慎也	人文・社会教育学系長	---		
立屋敷かおる	自然・生活教育学系長	---		
後藤 丹	芸術・体育教育学系長	---		
藤岡 達也	学校教育専攻長	---		
野村眞木夫	教科・領域教育専攻長	---		
小林 辰至	教育実践高度化専攻長	---		

以上11名

教育研究評議会に置かれる委員会

配分予算検討委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
加藤 雅啓	学校教育実践研究センター長	---		
中山勘次郎	学校臨床研究コース長	---		
内田 一成	臨床心理学コース長	---		
鈴木 情一	幼児教育コース長	---		
我妻 敏博	特別支援教育コース長	---		
有澤俊太郎	言語系コース長	---		
浅倉 有子	社会系コース長	---		
高津戸 秀	自然系コース長	---		
西村 俊夫	芸術系コース長	---		
下村 義夫	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
溝上 武實	連合研究科副研究科長	---		
鉄本 清隆	財務課長	---		
布川 和彦	学長指名	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	

以上15名

教育研究評議会に置かれる委員会

教員養成カリキュラム委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
佐藤 芳徳	副学長	---		委員長
梅野 正信	教授	---	21. 4. 1～22. 3. 31	
林 泰成	教授	---	20. 4. 1～22. 3. 31	
丸山 良平	教授	---	20. 4. 1～22. 3. 31	
五百川 裕	准教授	---	20. 4. 1～22. 3. 31	
釜田 聡	教授	---	20. 4. 1～22. 3. 31	
中山勘次郎	教授	---	20. 4. 1～22. 3. 31	
松沢 要一	准教授	---	20. 4. 1～22. 3. 31	
齋藤 一雄	教授	---	20. 4. 1～22. 3. 31	
押木 秀樹	准教授	---	20. 4. 1～22. 3. 31	
小林 辰至	教授	---	20. 4. 1～22. 3. 31	
直原 幹	教授	---	20. 4. 1～22. 3. 31	
阿部 靖子	教授	---	20. 4. 1～22. 3. 31	

以上13名

教育研究評議会に置かれる委員会

教務委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
佐藤 芳徳	副学長	---		委員長
内藤 美加	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	20.4.1～22.3.31	
松本 健義	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
宮下 敏恵	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
丸山 良平	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	21.4.1～23.3.31	
大庭 重治	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	21.4.1～22.3.31	
小埜 裕二	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	20.4.1～22.3.31	
石濱 博之	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
赤羽 孝之	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	21.4.1～23.3.31	
中川 仁	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	21.4.1～23.3.31	
大場 孝信	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	21.4.1～22.3.31	
平野 俊介	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	20.4.1～22.3.31	
洞谷亜里佐	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
下村 義夫	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21.4.1～23.3.31	
光永伸一郎	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21.4.1～23.3.31	
榊原 潔	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
松本 修	教育実践高度化専攻	教授	20.4.1～22.3.31	
中道 公壽	学務部長	---		
草間 忠明	教育支援課長	---		

以上20名



教育研究評議会に置かれる委員会

教育実習委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
五百川 裕	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
加藤 哲文	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	20.4.1～22.3.31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼児教育コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
道城 裕貴	学校教育専攻 特別支援教育コース	助教	21.4.1～23.3.31	
前川 利広	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	20.4.1～22.3.31	
山縣耕太郎	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
溝上 武實	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	20.4.1～22.3.31	
長谷川正規	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	21.4.1～23.3.31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
松本 修	教育実践高度化専攻 教育実践リーダーコース 学校運営リーダーコース	教授	20.4.1～22.3.31	
釜田 聡	学校教育実践研究センター	教授	20.4.1～22.3.31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	21.4.1～23.3.31	
伊佐 貢一	学校教育実践研究センター	特任准教授	20.4.1～22.3.31	
佐藤 佐敏	学校教育実践研究センター	特任准教授	20.4.1～22.3.31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	特任准教授	21.4.1～22.3.31	
小出 佳子	附属幼稚園副園長	---		
柳 恒雄	附属小学校副校長	---		
藤本 孝昭	附属中学校副校長	---		
中道 公壽	学務部長	---		
草間 忠明	教育支援課長	---		
小林 辰至	学長指名	教授	21.4.1～23.3.31	委員長
土谷 良巳	学長指名	教授	21.4.1～23.3.31	
中野 博幸	学長指名	特任准教授	21.4.1～23.3.31	
清水 雅之	学長指名	特任准教授	21.4.1～23.3.31	

以上24名

教育研究評議会に置かれる委員会

学生委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
白木みどり	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
両角 達男	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20. 4. 1～22. 3. 31	
井沢功一郎	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	21. 4. 1～23. 3. 31	
鈴木 情一	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
村中 智彦	学校教育専攻 特別支援教育コース	講師	20. 4. 1～22. 3. 31	
平野 絹枝	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
高本 條治	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	20. 4. 1～22. 3. 31	
小島 伸之	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
伊達 文治	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	20. 11. 12～22. 3. 31	
中村 雅彦	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	21. 4. 22～23. 3. 31	
後藤 丹	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	20. 4. 1～22. 3. 31	
安部 泰	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	21. 4. 1～23. 3. 31	
佐藤 悦子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20. 4. 1～22. 3. 31	
黎 子椰	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20. 4. 1～22. 3. 31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
清水 富弘	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
瀬戸 健	教育実践高度化専攻	教授	20. 4. 1～22. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター所長	---		
中道 公壽	学務部長	---		
長津 昭	学生支援課長	---		
川村 知行	学長指名	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	委員長

以上21名

教育研究評議会に置かれる委員会

就職委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
梅野 正信	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	20.4.1～22.3.31	
橋本 定男	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
高橋 靖子	学校教育専攻 臨床心理学コース	助教	21.4.1～23.3.31	
土谷 良巳	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	21.4.1～23.3.31	
平野 絹枝	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	21.4.1～23.3.31	
渡部洋一郎	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
吉田 昌幸	教科・領域教育専攻 社会系コース	講師	21.4.1～23.3.31	
森 博	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	21.4.1～22.3.31	
小川 茂	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	21.4.1～22.3.31	
西村 俊夫	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	21.4.1～22.3.31	
時得 紀子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
得丸 定子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21.4.1～23.3.31	
清水 富弘	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻	教授	20.4.1～22.3.31	
中道 公壽	学務部長	---		
中島 忍	就職支援室長	---		
藤岡 達也	学長指名	教授	21.4.1～23.3.31	委員長

以上17名

教育研究評議会に置かれる委員会

教員免許状更新講習実施委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
小林 恵	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	20.4.9~22.3.31	
越 良子	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20.4.9~22.3.31	
宮下 敏恵	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	20.4.9~22.3.31	
鈴木 情一	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	20.4.9~22.3.31	
河合 康	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	20.4.9~22.3.31	
石濱 博之	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	20.4.9~22.3.31	
渡部洋一郎	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	20.4.9~22.3.31	
山本 友和	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	20.4.9~22.3.31	
宮川 健	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	21.4.1~22.3.31	
下村 博志	教科・領域教育専攻 自然系コース	講師	21.4.1~22.3.31	
阿部 靖子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	20.4.9~22.3.31	
峯岸 創	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	20.4.9~22.3.31	
下村 義夫	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20.12.10~22.3.31	
山崎 貞登	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21.4.1~22.3.31	
佐藤ゆかり	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	講師	20.4.9~22.3.31	
周東 和好	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	講師	20.4.9~22.3.31	
久保田善彦	教育実践高度化専攻	准教授	20.4.9~22.3.31	
中道 公壽	学務部長	---		
草間 忠明	教育支援課長	---		

以上20名

教育研究評議会に置かれる委員会

入学試験委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
加藤 泰樹	副学長	---		委員長
中山勘次郎	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	20.4.1～22.3.31	
井上 久祥	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
五十嵐透子	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	21.4.1～23.3.31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼児教育コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
葉石 光一	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
大場 浩正	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
迎 勝彦	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
下里 俊行	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	21.4.1～22.3.31	
高橋 等	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	21.4.1～22.3.31	
濤崎 智佳	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	21.4.22～22.3.31	
上野 正人	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
松尾 大介	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
細江 容子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20.4.1～22.3.31	
立屋敷かおる	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21.4.1～23.3.31	
山崎 貞登	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21.4.1～23.3.31	
土田 了輔	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
武嶋 俊行	教育実践高度化専攻	教授	21.4.1～22.3.31	
戸北 凱惟	国際交流推進室長	---		
中道 公壽	学務部長	---		
渡辺 明弘	入試課長	---		
南部 昌敏	学長指名	教授	21.4.1～23.3.31	
増井 晃	学長指名	教授	21.4.22～22.3.31	保健管理センター 所長の代理
小埜 裕二	学長指名	教授	21.4.22～22.3.31	教務委員会委 員長の代理

以上24名

教育研究評議会に置かれる委員会

学術研究委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		
下西善三郎	副学長	---		委員長
(下西善三郎)	附属図書館長	---		
加藤 雅啓	学校教育実践研究センター長	---		
南部 昌敏	情報メディア教育支援センター長	---		
増井 三夫	学校教育学系長	---		
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---		
松田 慎也	人文・社会教育学系長	---		
立屋敷かおる	自然・生活教育学系長	---		
後藤 丹	芸術・体育教育学系長	---		
中山勘次郎	学校臨床研究コース長	---		
内田 一成	臨床心理学コース長	---		
鈴木 情一	幼児教育コース長	---		
我妻 敏博	特別支援教育コース長	---		
有澤俊太郎	言語系コース長	---		
浅倉 有子	社会系コース長	---		
高津戸 秀	自然系コース長	---		
西村 俊夫	芸術系コース長	---		
下村 義夫	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
中道 公壽	学務部長	---		

以上20名

法人に置かれる委員会

セクシュアル・ハラスメント等人権侵害対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
加藤 泰樹	副学長	---		委員長
増井 三夫	学校教育学系長	---		
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---		
松田 慎也	人文・社会教育学系長	---		
立屋敷かおる	自然・生活教育学系長	---		
後藤 丹	芸術・体育教育学系長	---		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
林 泰成	附属小学校長	---		
新宅 鉄衛	総務部長事務取扱	---		
中道 公壽	学務部長	---		

以上10名

法人に置かれる委員会

大学評価委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
加藤 雅啓	学校教育実践研究センター長	---		
小林 恵	学校教育学系	教授	20.4.1～22.3.31	
五十嵐透子	臨床・健康教育学系	教授	21.4.1～22.3.31	
野村眞木夫	人文・社会教育学系	教授	20.4.1～22.3.31	
岩崎 浩	自然・生活教育学系	准教授	20.4.1～22.3.31	
阿部 靖子	芸術・体育教育学系	教授	20.4.1～22.3.31	
朝倉 啓爾	学校教育専攻	教授	20.4.1～22.3.31	
野地 美幸	教科・領域教育専攻	講師	21.4.1～22.3.31	
小林 辰至	教育実践高度化専攻	教授	20.4.1～22.3.31	
天野 和孝	附属中学校長	---		
新宅 鉄衛	事務局長	---		
中道 公壽	学務部長	---		
西村 俊夫	学長指名	教授	21.4.1～23.3.31	

以上14名



法人に置かれる委員会

情報・広報委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
角谷 詩織	学校教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
佐藤 淳一	臨床・健康教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
中里 理子	人文・社会教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
大場 孝信	自然・生活教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
市川 真澄	芸術・体育教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
釜田 聡	学校教育実践研究センター	教授	20.4.1~22.3.31	
石川 真	情報メディア教育支援センター	准教授	20.4.1~22.3.31	
小出 佳子	附属幼稚園副園長	---	21.4.1~23.3.31	
新宅 鉄衛	総務部長事務取扱	---		
中道 公壽	学務部長	---		
安部 泰	学長指名	講師	21.4.1~23.3.31	

以上12名

法人に置かれる委員会

施設安全・環境委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
五百川 裕	学校教育学系	准教授	20.4.1～22.3.31	
高野 浩志	学校教育学系	講師	20.4.1～22.3.31	
増井 晃	臨床・健康教育学系	教授	21.1.1～22.3.31	
藤井 和子	臨床・健康教育学系	講師	20.4.1～22.3.31	
押木 秀樹	人文・社会教育学系	准教授	20.4.1～22.3.31	
吉田 昌幸	人文・社会教育学系	講師	21.4.1～22.3.31	
高津戸 秀	自然・生活教育学系	教授	20.4.1～22.3.31	
大森 康正	自然・生活教育学系	准教授	20.4.1～22.3.31	
福岡 奉彦	芸術・体育教育学系	教授	20.4.1～22.3.31	
伊藤 政展	芸術・体育教育学系	教授	21.4.1～22.3.31	
天野 和孝	附属中学校長	---	21.4.1～23.3.31	
新宅 鉄衛	総務部長事務取扱	---		
中道 公壽	学務部長	---		

以上14名

法人に置かれる委員会

研究倫理審査委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
下西善三郎	副学長	---		委員長
北條 礼子	人文・社会科学分野	教授	20.4.1～22.3.31	
梅野 正信	人文・社会科学分野	教授	21.4.1～22.3.31	
下村 義夫	自然科学分野	教授	20.4.1～22.3.31	
光永伸一郎	自然科学分野	教授	20.4.1～22.3.31	
上野 光博	保健管理センター	教授	20.4.1～22.3.31	
高橋 幸知	学外学識経験者	---	20.4.1～22.3.31	
増井 晃	学長指名	教授	20.4.1～22.3.31	

以上8名

法人に置かれる委員会

研究活動の不正行為対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
下西善三郎	副学長	---		委員長
(下西善三郎)	学術研究委員会委員長	---		
内藤 美加	学校教育学系	教授	21. 4. 1～22. 3. 31	
我妻 敏博	臨床・健康教育学系	教授	20. 4. 1～22. 3. 31	
山本 友和	人文・社会教育学系	教授	21. 4. 1～22. 3. 31	
天野 和孝	自然・生活教育学系	教授	20. 4. 1～22. 3. 31	
峯岸 創	芸術・体育教育学系	教授	20. 4. 1～22. 3. 31	
高橋 幸知	学外有識者	---	21. 4. 1～22. 3. 31	

以上7名

法人に置かれる委員会

男女共同参画推進委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---	21. 3. 11～22. 3. 31	
立屋敷かおる	自然・生活教育学系長	---	21. 3. 11～22. 3. 31	
野村眞木夫	教科・領域教育専攻長	---	21. 3. 11～22. 3. 31	
林 泰成	教授	---	21. 3. 11～22. 3. 31	
内藤 美加	教授	---	21. 3. 11～22. 3. 31	
柳 恒雄	附属小学校副校長	---	21. 3. 11～22. 3. 31	
小出 佳子	附属幼稚園副園長	---	21. 4. 1～22. 3. 31	
大津 輝幸	事務系職員	---	21. 3. 11～22. 3. 31	
秋山由美子	事務系職員	---	21. 3. 11～22. 3. 31	
齋藤 勇郎	総務課長	---		
瀧本 理恵	学長指名	事務系職員	21. 3. 11～22. 3. 31	

以上12名

附属施設等に置かれる委員会

附属図書館運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
下西善三郎	附属図書館長	---		委員長
藤岡 達也	学校教育専攻長	---		
野村眞木夫	教科・領域教育専攻長	---		
小林 辰至	教育実践高度化専攻長	---		
室橋 眞	学術情報課長	---		

以上5名

附属施設等に置かれる委員会

学校教育実践研究センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
加藤 雅啓	学校教育実践研究センター長	---		委員長
釜田 聡	学校教育実践研究センター	教授	20.4.1～22.3.31	
松本 修	学校教育実践研究センター	教授	20.5.14～22.3.31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	21.4.1～23.3.31	
伊佐 貢一	学校教育実践研究センター	特任准教授	20.5.14～22.3.31	
西川 純	学校教育学系	教授	20.4.1～22.3.31	
河合 康	臨床・健康教育学系	准教授	20.4.1～22.3.31	
北條 礼子	人文・社会教育学系	教授	20.4.1～22.3.31	
定本 嘉郎	自然・生活教育学系	准教授	20.4.1～22.3.31	
阿部亮太郎	芸術・体育教育学系	准教授	20.4.1～22.3.31	
藤本 孝昭	附属中学校副校長	---	21.4.1～23.3.31	
中道 公壽	学務部長	---		

以上12名

附属施設等に置かれる委員会

保健管理センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
上野 光博	保健管理センター所長	---		委員長
増井 晃	保健管理センター	教授		
川村 知行	学生委員会委員長	---		
五十嵐素子	学校教育専攻	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
五十嵐史帆	教科・領域教育専攻	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
岩崎 浩	教育実践高度化専攻	准教授	20. 4. 1～22. 3. 31	
新宅 鉄衛	総務部長事務取扱	---		
中道 公壽	学務部長	---		
五十嵐透子	学長指名	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	

以上9名



附属施設等に置かれる委員会

情報メディア教育支援センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
南部 昌敏	情報メディア教育支援センター長	---		委員長
大森 康正	情報メディア教育支援センター	准教授		
井上 久祥	情報メディア教育支援センター	准教授		
石川 真	情報メディア教育支援センター	准教授		
高野 浩志	情報メディア教育支援センター	講師		
奥村 太一	情報セキュリティ管理者 (学校臨床研究コース)	講師		
高橋 靖子	情報セキュリティ管理者 (臨床心理学コース)	助教		
杉浦 英樹	情報セキュリティ管理者 (幼児教育コース)	准教授		
藤井 和子	情報セキュリティ管理者 (特別支援教育コース)	講師		
高本 條治	情報セキュリティ管理者 (言語系コース)	准教授		
小島 伸之	情報セキュリティ管理者 (社会系コース)	准教授		
定本 嘉郎	情報セキュリティ管理者 (自然系コース)	准教授		
安部 泰	情報セキュリティ管理者 (芸術系コース)	講師		
(大森 康正)	情報セキュリティ管理者 (生活・健康系コース)	准教授		
水落 芳明	情報セキュリティ管理者 (教育実践リーダーコース・ 学校運営リーダーコース)	准教授		
清水 雅之	情報セキュリティ管理者 (学校教育実践研究センター)	特任准教授		
道城 裕貴	情報セキュリティ管理者 (特別支援教育実践研究センター)	助教		
壘 和弘	情報セキュリティ管理者 (附属幼稚園)	教諭		
青木 弘明	情報セキュリティ管理者 (附属小学校)	指導教諭		
松風 嘉男	情報セキュリティ管理者 (附属中学校)	教諭		
室橋 眞	情報セキュリティ管理者 (学術情報課長)	---		
齋藤 勇郎	情報セキュリティ管理者 (総務課長)	---		
草間 忠明	情報セキュリティ管理者 (教育支援課長)	---		

以上22名

附属施設等に置かれる委員会

心理教育相談室運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
内田 一成	心理教育相談室長	---		委員長
加藤 哲文	心理教育相談室相談員	教授		
五十嵐透子	心理教育相談室相談員	教授		
宮下 敏恵	心理教育相談室相談員	准教授		
佐藤 淳一	心理教育相談室相談員	准教授		
高橋 靖子	心理教育相談室相談員	助教		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
齋藤 一雄	特別支援教育実践研究センター	教授	21. 4. 1～22. 3. 31	
中道 公壽	学務部長	---		

以上9名

附属施設等に置かれる委員会

特別支援教育実践研究センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
齋藤 一雄	特別支援教育実践研究センター長	---		委員長
土谷 良巳	特別支援教育実践研究センター	教授		
村中 智彦	特別支援教育実践研究センター	講師		
道城 裕貴	特別支援教育実践研究センター	助教		
我妻 敏博	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	21.4.1～22.3.31	
宮下 敏恵	心理教育相談室	准教授	20.4.1～22.3.31	
中道 公壽	学務部長	---		

以上7名

附属施設等に置かれる委員会

附属学校運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
佐藤 芳徳	副学長	---		委員長
藤岡 達也	学校教育専攻長	---		
野村眞木夫	教科・領域教育専攻長	---		
小林 辰至	教育実践高度化専攻長	---		
丸山 良平	附属幼稚園長	---		
林 泰成	附属小学校長	---		
天野 和孝	附属中学校長	---		
小出 佳子	附属幼稚園副園長	---		
柳 恒雄	附属小学校副校長	---		
藤本 孝昭	附属中学校副校長	---		
新宅 鉄衛	事務局長	---		

以上11名

運営の基本組織として置かれる委員会

連合大学院委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考	氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
若井 彌一	学長	---	委員長	丸山 良平	先端課題実践開発連合講座	教授	
加藤 泰樹	副学長	---		木村 吉彦	先端課題実践開発連合講座	准教授	
川崎 直哉	副学長	---		久保田善彦	先端課題実践開発連合講座	准教授	
佐藤 芳徳	副学長	---		藤田 武志	先端課題実践開発連合講座	准教授	
下西善三郎	副学長	---		有澤俊太郎	言語系教育連合講座	教授	
内藤 美加	学校教育方法連合講座	教授		小埜 裕二	言語系教育連合講座	教授	
中山勘次郎	学校教育方法連合講座	教授		加藤 雅啓	言語系教育連合講座	教授	
南部 昌敏	学校教育方法連合講座	教授		野村眞木夫	言語系教育連合講座	教授	
増井 三夫	学校教育方法連合講座	教授		平野 絹枝	言語系教育連合講座	教授	
安藤 知子	学校教育方法連合講座	准教授		北條 礼子	言語系教育連合講座	教授	
越 良子	学校教育方法連合講座	准教授		前川 利広	言語系教育連合講座	教授	
角谷 詩織	学校教育方法連合講座	准教授		大場 浩正	言語系教育連合講座	准教授	
我妻 敏博	学校教育臨床連合講座	教授		押木 秀樹	言語系教育連合講座	准教授	
五十嵐透子	学校教育臨床連合講座	教授		赤羽 孝之	社会系教育連合講座	教授	
内田 一成	学校教育臨床連合講座	教授		浅倉 有子	社会系教育連合講座	教授	
大庭 重治	学校教育臨床連合講座	教授		山本 友和	社会系教育連合講座	教授	
加藤 哲文	学校教育臨床連合講座	教授		茨木 智志	社会系教育連合講座	准教授	
齋藤 一雄	学校教育臨床連合講座	教授		志村 喬	社会系教育連合講座	准教授	
河合 康	学校教育臨床連合講座	准教授		下里 俊行	社会系教育連合講座	准教授	
宮下 敏恵	学校教育臨床連合講座	准教授		山縣耕太郎	社会系教育連合講座	准教授	
梅野 正信	先端課題実践開発連合講座	教授		天野 和孝	自然系教育連合講座	教授	
鈴木 情一	先端課題実践開発連合講座	教授		小林 辰至	自然系教育連合講座	教授	
西川 純	先端課題実践開発連合講座	教授		高津戸 秀	自然系教育連合講座	教授	
林 泰成	先端課題実践開発連合講座	教授		中川 仁	自然系教育連合講座	教授	
松本 修	先端課題実践開発連合講座	教授		中村 雅彦	自然系教育連合講座	教授	

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
藤岡 達也	自然系教育連合講座	教授	
溝上 武實	自然系教育連合講座	教授	
森 博	自然系教育連合講座	教授	
小川 茂	自然系教育連合講座	准教授	
池田 操	芸術系教育連合講座	教授	
川村 知行	芸術系教育連合講座	教授	
後藤 丹	芸術系教育連合講座	教授	
高石 次郎	芸術系教育連合講座	教授	
西村 俊夫	芸術系教育連合講座	教授	
平野 俊介	芸術系教育連合講座	教授	
松本 健義	芸術系教育連合講座	准教授	
市川 真澄	生活・健康系教育連合講座	教授	
伊藤 政展	生活・健康系教育連合講座	教授	
下村 義夫	生活・健康系教育連合講座	教授	
立屋敷かおる	生活・健康系教育連合講座	教授	
得丸 定子	生活・健康系教育連合講座	教授	
山崎 貞登	生活・健康系教育連合講座	教授	
黎 子椰	生活・健康系教育連合講座	教授	
清水 富弘	生活・健康系教育連合講座	准教授	

以上69名

---

---

# 一般通報事項

---

---

## ○役員会

### ■第49回役員会

期 日 平成21年 3 月19日（木）

議 題

- 1 平成21年度年度計画
- 2 法人組織と大学組織の整理のための対応
- 3 上越教育大学憲章の制定
- 4 役員退職手当規程の一部改正
- 5 職員給与の改定
- 6 授業料その他の費用に関する規程等の一部改正
- 7 附属幼稚園園則等の一部改正
- 8 各種委員会等の構成員の見直し
- 9 平成21年度学内予算
- 10 東京学芸大学赤倉合宿研修施設敷地利用計画
- 11 バードアイシステムの事業化に関する包括的な協定の締結

### ■第50回役員会

期 日 平成21年 4 月 1 日（水）

議 題

- 1 学長の職務を代理する者の指名
- 2 役員会等の議長の職務を代理する者の指名
- 3 第二期中期目標・中期計画検討特別委員会の設置

## ○教育研究評議会

### ■第75回教育研究評議会

期 日 平成21年 3 月11日（水）

議 題

- 1 平成21年度年度計画
- 2 平成21年度における学内自己点検・評価実施計画
- 3 教員人事
- 4 部局長等の選考
- 5 大学教員サバティカル制度の導入
- 6 国立大学法人上越教育大学男女共同参画推進委員会の設置
- 7 附属幼稚園園則等の一部改正
- 8 上越教育大学免許状更新講習規程の制定

- 9 科目等履修に係る授業料等の免除
- 10 国立大学法人上越教育大学くびきの奨学金給付要項の制定
- 11 バードアイシステムの事業化に関する包括的な協定の締結
- 12 共同研究の受入れ
- 13 受託研究の受入れ

■第76回教育研究評議会

期 日 平成21年3月22日（日）

議 題

- 1 第二期中期目標・中期計画
- 2 教員人事
- 3 国立大学法人上越教育大学教員選考手続細則の一部改正
- 4 各種委員会等の構成員の見直し
- 5 教育研究評議会に置かれる委員会委員の委嘱
- 6 大学院アドミッション・ポリシーの一部改正

■第77回教育研究評議会

期 日 平成21年4月1日（水）

議 題

- 1 副学長の選考
- 2 学長選考会議委員の選出

■第78回教育研究評議会

期 日 平成21年4月22日（水）

議 題

- 1 教員人事
- 2 教員研究評議会に置かれる委員会委員の委嘱
- 3 大学教員人事方針

○経営協議会

■第22回経営協議会

期 日 平成21年3月16日（月）

協議題

- 1 平成21年度年度計画
- 2 平成21年度学内予算
- 3 国立大学法人上越教育大学における授業料その他の費用に関する規程の一部改正
- 4 役員退職手当規程の一部改正
- 5 役員の退職手当に係る業績勘案率



- 6 職員給与の改定
- 7 国立大学法人上越教育大学経営協議会規則の一部改正
- 8 役員等の選考
- 9 平成21年度における学内自己点検・評価実施計画
- 10 バードアイシステム事業化に関する包括的な協定の締結
- 11 大学院入学者選抜試験実施状況
- 12 法人組織と大学組織の整理のための対応
- 13 第二期中期目標・中期計画
- 14 上越教育大学憲章
- 15 科目等履修に係る授業料等の免除

## ○教授会

### ■第88回教授会

期 日 平成21年3月4日（水）

議 題

- 1 平成21年度学部入学者選抜個別学力検査等（前期日程）合格者の判定
- 2 平成21年度専門職学位課程（教職大学院）第2次学生募集
- 3 学籍異動
- 4 平成20年度学部卒業判定
- 5 平成20年度大学院修了判定
- 6 教員人事

### ■第89回教授会

期 日 平成21年3月22日（日）

議 題

- 1 平成21年度学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）合格者の判定
- 2 平成21年度学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）追加合格者の決定
- 3 平成21年度欠員補充第2次学生募集に係る合格者の判定
- 4 平成21年度大学院入学者選抜試験（後期募集）合格者の判定
- 5 平成21年度教育職員免許取得プログラム受講者の判定
- 6 学籍異動
- 7 既修得単位の認定
- 8 教員人事
- 9 国立大学法人上越教育大学教員選考手続細則の一部改正

### ■第90回教授会

期 日 平成21年4月22日（水）

議 題

- 1 教員人事
- 2 名誉教授の推薦

## ○学位記

・博士（教育学）

（平21.3.23 新潟大学）

准教授 土田 了輔

## ○退職者永年勤続表彰状授与式

平成21年3月31日付け本学退職者の永年勤続表彰状授与式が3月22日（日）に行われた。

被表彰者には表彰状が授与され、併せて記念品が贈呈された。

被表彰者は次のとおりである。

渡邊 隆 学長

高田 喜久司 理事

阿部 勲 教授（学校教育学系）

鈴木 敏紀 教授（人文・社会教育学系）

藤澤 郁夫 教授（人文・社会教育学系）

西山 保子 教授（自然・生活教育学系）

風巻 孝男 教授（芸術・体育教育学系）

西條 江美子 室長（学務部就職支援室）

船越 幸子 准看護師（学務部学生支援課）

## ○ファカルティ・ディベロップメント研修会

本学の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため、ファカルティ・ディベロップメント研修会を3月5日（木）に実施した。

大学評価委員会ファカルティ・ディベロップメント専門部会による平成20年度の活動等の報告及び今後の授業公開の在り方についての意見交換の後、『授業の方法・内容』をテーマに授業実践例の紹介・パネルディスカッションが行われた。



## ○公開講座・免許法認定公開講座

平成21年度に実施する公開講座等は次のとおりである。

(※を付した講座については、公開講座に併せて、免許法認定公開講座として実施するものである。)

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
ピアノ入門	初級でも演奏できる名曲にチャレンジしてみよう。	平野 俊介 教授	4月15日(水) ) 6月10日(水) 4月29日, 5月6日を除く 毎週水曜日 7回	17:30 ) 19:30  計14時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 5人  最小実施 人数1人
はじめての短歌—実作短歌入門	短歌は、万葉集以来、日本人に最も親しまれてきた詩形ですが、いざ作るとなると「難しそう」と感じる人も多いと思います。でも、そんなことはありません。講座では、初回到歌作りの基本的な考え方をお話しした後、2回目からは各自が作品を持ち寄り、相互に批評しあうことによって、歌作りの勘どころを学んでいきます。短歌を通じ自己表現の手法を学べば、他の文学作品を鑑賞する上でもきっと新しい視界が開かれることでしょう。	松田 慎也 教授	5月8日(金) ) 7月10日(金)  毎週金曜日 10回	19:00 ) 20:30  計15時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 20人  最小実施 人数2人
ドイツ語入門	初級ドイツ語の習得を目指し、ドイツ語のガイドを読み、街で簡単な会話ができるようになりましょう。	増井 三夫 教授	5月12日(火) ) 7月14日(火)  毎週火曜日 10回	14:40 ) 16:10  計15時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 15人  最小実施 人数10人
体操教室 I (山屋敷体操教室小学生)	小学生を対象として、マット、とび箱、鉄棒、平均台、トランポリンなどの器械運動を中心に行う体操教室です。	周東 和好 講師	5月16日(土) 5月23日(土) 6月13日(土) 6月20日(土) 6月27日(土) 7月4日(土)  毎週土曜日 6回	14:00 ) 16:00  計12時間	本学 (山屋敷町)	小学生 1~6年生 20人  最小実施 人数1人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
特別な支援を必要とする子の指導・支援計画	<p>特別支援教育推進の現状や新学習指導要領の基本方針等について概説するとともに、特別な教育的ニーズに対応するカリキュラムである「自立活動」の考え方や個別の指導計画作成の方法等について論じます。その上で、受講者ご自身に学級等で担当されている児童生徒を対象とした個別の指導計画を実際に作成していただき、その授業への生かし方と具体的な評価の方法について考究します。個別の教育支援計画策定についてもふれていきます。</p> <p>注1</p>	<p>笠原 芳隆 准教授</p> <p>藤井 和子 講師</p>	<p>5月30日(土)</p> <p>6月13日(土)</p> <p>6月20日(土)</p> <p>3回</p>	<p>10:00</p> <p>}</p> <p>16:00</p> <p>(昼食休憩1時間)</p> <p>計15時間</p>	<p>本学 (山屋敷町)</p>	<p>現職教員・保育士等で特別な支援を必要とする子の指導・支援に関心のある方 20人</p>
少年少女スポーツ教室Ⅲ(山屋敷サッカークラブ低学年)	<p>小学校3年生以下の子どものためのサッカー教室です。マット、鉄棒、跳び箱、縄跳び、エクササイズボールなどを用いて様々なスポーツの基礎となる「動きづくり」を行います。また、ボールを扱うテクニックの練習や試合を行います。</p> <p>実施場所までの交通手段が確保できない受講希望者は、あらかじめお問い合わせ下さい。</p>	<p>榑原 潔 准教授</p>	<p>7月26日(日)</p> <p>7月27日(月)</p> <p>7月29日(水)</p> <p>7月30日(木)</p> <p>7月31日(金)</p> <p>8月3日(月)</p> <p>8月4日(火)</p> <p>7回</p>	<p>9:00</p> <p>}</p> <p>11:00</p> <p>計14時間</p>	<p>本学 (山屋敷町)</p>	<p>初級小学生 15人</p> <p>最小実施人数6人</p>
応用行動分析で特別支援教育が変わるⅢー特別支援学校・特別支援学級編ー	<p>近年、特別支援教育を中心として、応用行動分析に基づく教育実践の成果が大きな注目を集めています。本講座では、応用行動分析の基本的な理論と枠組みの理解、アセスメント(行動観察など)の手法や基礎的な指導技法の習得、客観的データに基づく特別支援学校・特別支援学級における授業改善や学校コンサルテーションへの活用を目指します。注2</p>	<p>加藤 哲文 教授</p> <p>村中 智彦 講師</p>	<p>7月28日(火)</p> <p>7月29日(水)</p> <p>7月30日(木)</p> <p>3回</p>	<p>10:00</p> <p>}</p> <p>16:00</p> <p>(昼食休憩1時間)</p> <p>計15時間</p>	<p>本学大宮サテライトキャンパス</p>	<p>初級特別支援学校・特別支援学級教員 20人</p> <p>最小実施人数5人</p>

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
応用行動分析で特別支援教育が変わるⅢー通常学級編ー	近年、特別支援教育を中心として、応用行動分析に基づく教育実践の成果が大きな注目を集めています。本講座では、応用行動分析の基本的な理論と枠組みの理解、アセスメント（行動観察など）の手法や基礎的な指導技法の習得、客観的データに基づく通常学級における授業改善や学校コンサルテーションへの活用を目指します。注3	加藤 哲文 教授 道城 裕貴 助教	7月28日（火） 7月29日（水） 7月30日（木）  3回	10:00 } 16:00  (昼食休憩1時間)  計15時間	本学新潟 サテライト	初級 小中高の通常学級教員 20人  最小実施 人数5人
木工ものづくり教室（ちゃぶ台をつくらう）	小学校5,6年生と中学生を対象とした木工ものづくり教室です。 のこぎり、さしがね、げんのう等の道具の使い方を学び、木材で楽しく、折りたたみができる便利なちゃぶ台をつくりたい。完成した作品は展示を予定しています。	東原 貴志 准教授	8月3日(月) } 8月7日(金)  連続5日間 5回	9:00 } 12:00  計15時間	本学 (山屋敷町)	入門 小学5,6 生と中学生 20人  最小実施 人数1人
日本近代文学の名作を読む～短編小説を楽しむ⑤～	日本の短編小説を毎回1作品ずつ取り上げ、じっくり読み解く作業を通じて、その作品の面白さやテーマ・構造等について考えます。小説の読み方、楽しみ方について学ぶ講座です。 講読予定作品：①川端「弓浦市」②漱石「一夜」③内田百閒「サラサーテの盤」④芥川「枯野抄」⑤谷崎「靉間」⑥鏡花「貝の穴に河童の居る事」⑦太宰「桜桃」⑧三島「荒野より」⑨川上弘美「花野」⑩町田康「一言主の神」	小埜 裕二 教授	8月5日(水) } 12月9日(水)  隔週水曜日 10回	19:00 } 20:30  計15時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 10人  最小実施 人数5人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
「小学校英語」 進め方入門	『だれでもできる』『た めになる』『楽しい』小学 校英語の授業づくりをねら いとします。その内容は、 理論編と実践編を組み合わ せた内容です。具体的に、 学習指導要領に基づく小学 校英語のねらいや意義、カ リキュラムデザイン、授業 の枠組みの作り方、ゲーム の活動、歌の活動、教材・ 教具、授業展開事例、評価 の考え方と方法、教室英語 などの概要を提供いたしま す。	石濱 博之 准教授	8月26日(水) 8月27日(木)  2回	10:00 ~ 16:00  計10時間	本学 (山屋敷町)	現職教員 市民一般 15人
越の文化を探 るⅡ	本学創立20周年の平成10 年10月、シンポジウム「謙 信・景勝と春日山城ー過去 ・現在・未来ー」を実施し た。その折、謙信の真言宗 信仰と景勝時代の春日山 城、さらに直江兼継の「愛」 にも注目したが、前年の公 開講座の成果でもあった。 以来、10年が経過し、「天 地人」によって、再注目さ れている。そこで、この間 10年の成果を踏まえ、再び、 会津・米沢を訪問したい。	川村 知行 教授  小島 幸雄 (元上越市 教育委員会)	10月14日(水) 10月21日(水) 11月4日(水)  毎週水曜日 3回  10月24日(土) 10月25日(日)  実地見学	18:00 ~ 20:00  計16時間	上越市春日 謙信交流館 (JR春日 山駅前)	市民一般 20人  最小実施 人数10人
陶芸ー加飾に 凝った器を作 る	化粧土によるかき落とし や象嵌技法を使って、オリ ジナルの絵模様を表現した 凝った盛り皿・盛り鉢を作 り施釉後焼成します。	高石 次郎 教授	10月10日(土) 10月17日(土) 10月31日(土) 11月7日(土)  4回	13:00~ 17:00 13:00~ 16:00 10:00~ 12:00 10:00~ 12:00  計11時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 20人  最小実施 人数10人
体操教室Ⅱ (山屋敷体操 教室小学生)	小学生を対象として、マ ット、とび箱、鉄棒、平均 台、トランポリンなどの器 械運動を中心に行う体操教 室です。	周東 和好 講師	10月24日(土) 10月31日(土) 11月7日(土) 11月14日(土) 12月5日(土) 12月12日(土)  6回	14:00 ~ 16:00  計12時間	本学 (山屋敷町)	小学生 1~6年生 20人  最小実施 人数1人

講座名	講 座 概 要	講 師	実施期間	開設時間	実施場所	定 員
少年少女スポーツ教室Ⅱ (山屋敷フットサルクラブ 中学生)	中学生のためのフットサル教室です。受講者はチームに分かれて練習と試合を行います。勉強の質問や相談も受け付けます。 実施場所までの交通手段が確保できない受講希望者は、あらかじめお問い合わせ下さい。	榑原 潔 准教授	11月23日(月・祝) 11月29日(日) 12月19日(土) 12月23日(水・祝) 12月26日(土) 12月27日(日) 1月9日(土)  7回	18:00 } 20:00  計9時間	本学 (山屋敷町)	中級 中学生 25人  最小実施 人数11人
理科野外観察 指導実習A ※	実習の場を林と池とし、食物連鎖の観点から林と池に生息する多種多様な生物とその相互関係を観察し、食物連鎖の野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とする。	中村 雅彦 教授	8月8日(土) 8月9日(日)	9:00 } 17:00  計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般  現職教員 10人
理科野外観察 指導実習C ※	実習の場を川とし、川に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、川における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とする。	中村 雅彦 教授	8月18日(火) 8月19日(水)	9:00 } 17:00  計15時間	正善寺川	初級・中級 市民一般  現職教員 10人
理科野外観察 指導実習D ※	池や沼などでみられる浮遊生物(プランクトン)についてそのサンプリング方法や観察法について実習を通して指導する。走査電子顕微鏡、蛍光顕微鏡等を実際に操作しながらプランクトンの生きた姿と微細形態の観察・撮影を行う。	小川 茂 准教授	8月31日(月) 9月1日(火)	9:00 } 17:00  計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般  現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習E ※	身近に生育する植物の分類、形態、生態についての観察指導のポイントを、校庭や路傍、畑地や空き地、雑木林や杉林を観察場所とした実習を通して学ぶ。名前を知らなくとも植物の野外観察はできることを体験し、野外観察指導実践を阻むバリアーの低減をめざす。	谷 友和 講師	8月22日(土) 8月23日(日)	9:00 } 17:00  計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般  現職教員 10人
理科野外観察 指導実習F ※	初等中等教育では野外での地層観察や化石採集が求められている。本実習では地層観察方法や化石採集方法を実習し、採集された化石などから地質時代や古環境を検討する。	天野 和孝 教授	8月10日(月) 8月11日(火)	9:00 } 17:00  計15時間	上越市平山 ~中ノ俣 上越市谷浜 ~大淵	初級・中級 市民一般  現職教員 10人
理科野外観察 指導実習G ※	大地の変動の観点から変成作用による地殻変動や火成活動の野外観察をおこなう。いろいろな岩石を観察することにより野外観察を指導するための基礎を習得させる。また火山災害についての安全対策を現地で実際に学ぶ。	大場 孝信 准教授	8月27日(木) 8月28日(金)	9:00 } 17:00  計15時間	妙高・糸魚 川	初級・中級 市民一般  現職教員 10人
理科野外観察 指導実習I ※	1泊2日の日程で暖候季の星の観測実習を実施する。小学校4年理科および中学校理科第2分野の天文単元に出てくる、太陽、月、星座の日周運動および星の観測の指導に適した季節、場所、方法等について、実際に観測しながら体得させる。	濤崎 智佳 准教授	10月10日(土) 10月11日(日)	9:00 } 17:00  計15時間	星のふるさと館(清里区)	初級・中級 市民一般  現職教員 10人



講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習J ※	身近な自然に見られる野草等の植物の生活史を、植物相互の関わり、昆虫との関わり、光・温度・水・土等の物理・化学的環境要因との関わり等の視点で総合的に理解するための観察能力を、講義と実習を通して修得する。さらに、比較や分類等を通してプロセス・スキルズについても実習を通して学ぶ。	中村 雅彦 教授	5月23日(土) 5月24日(日)	9:00 ~ 17:00  計15時間	本学  (山屋敷町)	初級・中級 市民一般  現職教員 10人

理科野外観察指導実習B及び理科野外観察指導実習Hは、今年度休講いたします。

## ○訃報

酒井 創 氏（さかい はじめ＝上越教育大学准教授）

平成21年4月9日午後6時ごろ死去。60歳。

鹿児島大学を経て、昭和62年9月に上越教育大学に着任。

研究分野はピアノ演奏法。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

渡邊 英二 氏（わたなべ えいじ＝上越教育大学名誉教授）

平成21年4月15日午前8時35分老衰により死去。78歳。

富山大学を経て、昭和60年4月に上越教育大学学校教育学部教授に着任し、平成8年3月に停年退職、同年6月に名誉教授の称号を授与された。

研究分野においては、国語学を専門とし、主として江戸期の国語学（国文法）研究史と平安期の敬語史及び文法史の研究・教育に務めた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

○海外渡航

	職名	氏名	渡航目的国	用務	期間	備考
1	准教授	志村 喬	イギリス	イギリス初等教育における地図活用に関する資料収集	平成21年3月1日～平成21年3月5日	外国出張
2	教授	北條 礼子	フィリピン	小学校英語教育に関する情報収集補助	平成21年3月2日～平成21年3月5日	外国出張
3	教授	武嶋 俊行	フィンランド	海外の大学における教育方法、運営体制の調査研究	平成21年3月2日～平成21年3月8日	外国出張
4	准教授	木村 吉彦	フィンランド	海外の大学における教育方法、運営体制の調査研究	平成21年3月2日～平成21年3月8日	外国出張
5	教育支援課副課長	中川 則之	フィンランド	海外の大学における教育方法、運営体制の調査研究	平成21年3月2日～平成21年3月8日	外国出張
6	学校連携チーム	風間 健一	フィンランド	海外の大学における教育方法、運営体制の調査研究	平成21年3月2日～平成21年3月8日	外国出張
7	教授	瀬戸 健	アメリカ	海外の大学における教育方法、運営体制の調査研究	平成21年3月2日～平成21年3月8日	外国出張
8	学長特別補佐	臼杵 美由紀	オーストラリア	日本語教育に関する資料収集及び海外交流に関する打合せ・海外フィールドスタディの視察	平成21年3月4日～平成21年3月14日	外国出張
9	教授	細江 容子	インド	ジェントロジ-国際会議での発表と留学生獲得のための打合せ	平成21年3月11日～平成21年3月17日	外国出張
10	教授	瀬戸 健	韓国	研究調査の打合せ	平成21年3月12日～平成21年3月13日	外国出張
11	准教授	志村 喬	イギリス アメリカ	英米における地理学習教材開発と使用に関する資料収集及びアメリカ地理学会参加	平成21年3月14日～平成21年3月25日	外国出張
12	准教授	庭野 義英	アメリカ	アメリカ理科教育史研究及び環境保護思想史研究の打合せ及び文献収集	平成21年2月22日～平成21年3月3日	海外研修
13	教授	釜田 聡	韓国 中国	社会認識を深める教材開発に関する現地調査と資料収集及び研究打合せ	平成21年3月23日～平成21年3月28日	外国出張
14	講師	末松 裕基	イギリス	イギリスにおける学校の民営化に関わる研究資料・政府資料の収集	平成21年3月24日～平成21年3月29日	外国出張
15	准教授	葉石 光一	アメリカ	スターリニズム心理学・旧ソビエト心理学・文化心理学等に関する資料収集	平成21年3月24日～平成21年3月29日	外国出張
16	教授	細江 容子	台湾	国際比較調査の打合せと「学校教育におけるジェントロジ-教育」の台湾での立ち上げ	平成21年3月26日～平成21年3月28日	外国出張
17	准教授	土田 了輔	アメリカ	学会参加・資料収集・研究発表	平成21年3月31日～平成21年4月5日	外国出張
18	教授	五十嵐 透子	アメリカ	交流協定更新に関する打合せ	平成21年4月4日～平成21年4月11日	外国出張
19	准教授	山縣 耕太郎	ロシア	アムールオホーツクプロジェクトに関わる調査	平成21年4月20日～平成21年4月27日	外国出張

○平成21年度学校教育学部入学者選抜試験状況

( )内は女子で内数

区分	推薦による選抜 (募集人員 50人)				個別学力検査等による選抜 (募集人員 110人)				私費外国人留学生特別選抜 (募集人員 若干名)				計 (募集人員 160人)											
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者								
北海道					(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1								
青森県																								
岩手県	(1)	1	(1)	1									(1)	1	(1)	1								
宮城県	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1					(1)	1	(1)	1								
秋田県	(1)	1	(1)	1									(1)	1	(1)	1								
山形県	(1)	3	(1)	3	2	2	(4)	4	(3)	3	(1)	1	(1)	1	(5)	7								
福島県	(6)	9	(6)	9	(3)	4	(3)	4	(9)	15	(6)	9	(3)	6	(15)	24								
茨城県							3	1	1	1			3	1	1	1								
栃木県	(3)	4	(3)	4	(2)	3	(2)	3	(6)	15	(2)	7	(2)	7	(2)	6								
群馬県	(1)	3	(1)	3			(9)	20	(4)	12	(2)	8	(2)	8	(10)	23								
埼玉県					(2)	4	(2)	3	(1)	2	(1)	2	(2)	4	(2)	3								
千葉県					2	1							2	1										
東京都					5	2	1	1					5	2	1	1								
神奈川県					(2)	4	(1)	2	(1)	1			(2)	4	(1)	2								
新潟県	(25)	48	(25)	47	(14)	24	(14)	24	(93)	155	(50)	86	(20)	41	(18)	39								
富山県	(3)	7	(3)	7	(1)	2	(1)	2	(24)	34	(12)	15	(8)	8	(6)	6								
石川県	(5)	8	(5)	7	(2)	3	(2)	3	(28)	50	(13)	25	(10)	20	(10)	19								
福井県	(3)	4	(3)	4			(4)	14	(2)	5	(2)	4	(2)	3	(7)	18								
山梨県	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(3)	5	(3)	4	(2)	3	(2)	3								
長野県	(10)	13	(10)	13	(3)	5	(3)	5	(34)	57	(18)	31	(8)	15	(8)	15								
岐阜県	1	1	1	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1								
静岡県	(3)	3	(3)	3	(2)	2	(2)	2	(4)	7	1	1	1	1	(7)	10								
愛知県	(2)	3	(2)	3	1	1	(3)	18	(1)	9	(1)	5	3	3	(5)	21								
三重県					(1)	2	(1)	1	(1)	1					(1)	2								
滋賀県					(1)	1									(1)	1								
京都府	1				1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1								
大阪府																								
兵庫県					(1)	3	(1)	3	(1)	3	(1)	3	(1)	3	(1)	3								
奈良県																								
和歌山県																								
鳥取県																								
島根県					1								1											
岡山県																								
広島県																								
山口県																								
徳島県	1	1	1	1	1	1							2	1	1	1								
香川県																								
愛媛県																								
高知県																								
福岡県																								
佐賀県																								
長崎県																								
熊本県																								
大分県																								
宮崎県																								
鹿児島県																								
沖縄県																								
その他																								
計	(66)	112	(66)	109	(29)	50	(29)	50	(230)	423	(121)	223	(65)	131	(58)	120	(296)	535	(187)	332	(94)	181	(87)	170
			応募者/合格者 2.2倍		男 42.0% 女 58.0%				応募者/合格者 3.2倍		男 51.7% 女 48.3%				応募者/合格者 3.0倍		男 48.8% 女 51.2%							

○平成21年度 大学院学校教育研究科入学者選抜試験状況

■専攻・コース別

課程	専攻・コース	前期募集 (試験日:20.8.23)					中期募集 (試験日:20.11.22)					後期募集 (試験日:21.3.6)					教職大学院第2次募集 (試験日:21.3.25)					合計				
		募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学定員	応募者	受験者	合格者	入学者
修士課程	学校教育専攻	96	(22)128	(22)122	(21)98	(21)76	28	(2)53	(2)50	(2)35	(2)27	22	23	22	18	17	/					120	(24)204	(24)194	(23)151	(23)120
	学校臨床研究コース	54	(14)56	(14)54	(14)50	(14)44	20	(2)29	(2)27	(2)23	(2)16	12	17	16	15	14						[70]	(16)102	(16)97	(16)88	(16)74
	臨床心理学コース	18	(4)43	(4)41	(3)23	(3)12	若干人	12	12	1		若干人	4	4	1	1						[18]	(4)59	(4)57	(3)25	(3)13
	幼児教育コース	5	5	5	5	5	2	4	3	3	3	5										[7]	9	8	8	8
	特別支援教育コース	19	(4)24	(4)22	(4)20	(4)15	6	8	8	8	8	5	2	2	2	2						[25]	(4)34	(4)32	(4)30	(4)25
	教科・領域教育専攻	104	(18)71	(17)67	(17)66	(16)54	64	(3)50	(3)49	(3)47	(2)41	43	26	23	20	17						130	(21)147	(20)139	(20)133	(18)112
	言語系コース	20	(7)16	(7)15	(7)15	(7)10	10	(1)19	(1)19	(1)18	(1)17	若干人	4	3	2	1						[25]	(8)39	(8)37	(8)35	(8)28
	社会系コース	18	8	7	6	4	17	5	5	4	4	16	11	10	8	7						[23]	24	22	18	15
	自然系コース	22	(3)17	(3)17	(3)17	(3)16	10	4	4	4	2	11	2	1	1	1						[27]	(3)23	(3)22	(3)22	(3)19
	芸術系コース	22	(2)9	(1)8	(1)8	6	19	6	5	5	4	16	7	7	7	6						[27]	(4)22	(3)20	(3)20	(1)16
	生活・健康系コース	22	(6)21	(6)20	(6)20	(6)18	8	16	16	16	14	若干人	2	2	2	2						[28]	(6)39	(6)38	(6)38	(6)34
小計	200	(40)199	(39)189	(38)164	(37)130	92	(5)103	(5)99	(5)82	(4)68	65	49	45	38	34	250	(45)351	(44)333	(43)284	(41)232						
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	44	(12)31	(12)31	(12)31	(12)22	25	(15)30	(15)29	(15)27	(15)24	28	(3)6	(3)4	(3)4	(2)4	10	2	2	2	1	50	(30)69	(30)66	(30)64	(29)51
	教育実践リーダーコース	24	(11)30	(11)30	(11)30	(11)21	6	(10)25	(10)24	(10)22	(10)19	14	(2)5	(2)3	(2)3	(1)3	5	2	2	2	1	[30]	(23)62	(23)59	(23)57	(22)44
	学校運営リーダーコース	20	(1)1	(1)1	(1)1	(1)1	19	(5)5	(5)5	(5)5	(5)5	14	(1)1	(1)1	(1)1	(1)1	5					[20]	(7)7	(7)7	(7)7	(7)7
	小計	44	(12)31	(12)31	(12)31	(12)22	25	(15)30	(15)29	(15)27	(15)24	28	(3)6	(3)4	(3)4	(2)4	10	2	2	2	1	50	(30)69	(30)66	(30)64	(29)51
合計	244	(52)230	(51)220	(50)195	(49)152	117	(20)133	(20)128	(20)109	(19)92	93	(3)55	(3)49	(3)42	(2)38	10	2	2	2	1	300	(75)420	(74)399	(73)348	(70)283	

※1 入学定員欄の〔〕内は、標準学生数を示す。

2 ( )内は、現職教員で3年以上の教職経験者数を示し内数である。

3 応募者数は、専攻・コースごとに原則として第1志望の人数を計上しているが、第2志望での合格者は合格した専攻・コースへの応募者として計上している。

■都道府県別

区分	前期募集				中期募集				後期募集				教職大学院第2次募集				合計			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道	3	3	1	1	2	2	1		2	2	2	2					7	7	4	3
青森県	(1) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1	2	2	2	1	1	1							(1) 5	(1) 4	(1) 3	(1) 2
岩手県	(1) 4	(1) 4	(1) 4	(1) 3					1								(1) 5	(1) 4	(1) 4	(1) 3
宮城県	2	2	1	1	4	4	3	3									6	6	4	4
秋田県	(2) 3	(2) 3	(2) 3	(2) 3	2	2	2	2	1	1	1	1					(2) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 6
山形県																				
福島県	(1) 7	(1) 7	(1) 6	(1) 5	1	1	1										(1) 8	(1) 8	(1) 7	(1) 5
茨城県	1	1	1	1	3	3	3	2									4	4	4	3
栃木県					1	1	1	1									1	1	1	1
群馬県	(1) 5	4	4	4	(5) 7	(5) 7	(5) 7	(5) 6	3	3	3	3					(6) 15	(5) 14	(5) 14	(5) 13
埼玉県	(1) 12	(1) 12	(1) 10	(1) 8	5	5	4	4									(1) 17	(1) 17	(1) 14	(1) 12
千葉県	(1) 6	(1) 6	(1) 6	(1) 5	6	6	5	4	1	1	1	1					(1) 13	(1) 13	(1) 12	(1) 10
東京都	(1) 47	(1) 42	(1) 37	(1) 22	29	27	23	18	(1) 15	(1) 13	(1) 12	10	1	1	1	1	(2) 92	(2) 83	(2) 73	(1) 51
神奈川県	4	4	4	2	5	5	5	4	3	3	2	1					12	12	11	7
新潟県	(33) 70	(33) 69	(32) 63	(32) 56	(13) 33	(13) 32	(13) 29	(13) 28	(1) 12	(1) 10	(1) 7	(1) 7					(47) 115	(47) 111	(46) 99	(46) 91
富山県	(2) 7	(2) 7	(2) 7	(2) 7	2	2	1	1	2	2	2	1					(2) 11	(2) 11	(2) 10	(2) 9
石川県	(1) 12	(1) 12	(1) 10	(1) 8	4	4	1		2	2	2	2					(1) 18	(1) 18	(1) 13	(1) 10
福井県																				
山梨県	4	4	3	1	2	1	1	1									6	5	4	2
長野県	(4) 16	(4) 16	(4) 15	(3) 10	1	1	1	1	1	1	1	1					(4) 18	(4) 18	(4) 17	(3) 12
岐阜県					1	1	1										1	1	1	
静岡県	2	1	1	1	(2) 4	(2) 4	(2) 4	(1) 3	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	1	1	1		(3) 8	(3) 7	(3) 7	(2) 5
愛知県	(3) 7	(3) 6	(3) 6	(3) 6	4	4	3	3									(3) 11	(3) 10	(3) 9	(3) 9
三重県					1	1	1	1	1	1	1	1					2	2	2	2
滋賀県	1	1	1	1													1	1	1	1
京都府	3	3	2		2	2			2	1	1	1					7	6	3	1
大阪府	2	2	2	1					1	1	1	1					3	3	3	2
兵庫県	1	1	1		1	1	1	1									2	2	2	1
奈良県									1	1	1	1					1	1	1	1
和歌山県																				
鳥取県																				
島根県																				
岡山県	1	1	1		1												2	1	1	
広島県																				
山口県	1	1	1	1													1	1	1	1
徳島県					1	1	1										1	1	1	
香川県																				
愛媛県																				
高知県																				
福岡県					1	1	1	1									1	1	1	1
佐賀県																				
長崎県																				
熊本県																				
大分県																				
宮崎県	1	1															1	1		
鹿児島県	1	1	1	1	1	1	1	1									2	2	2	2
沖縄県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					3	3	3	3
外国	4	4	2	2	6	6	5	5	4	4	3	3					14	14	10	10
計	(52) 230	(51) 220	(50) 195	(49) 152	(20) 133	(20) 128	(20) 109	(19) 92	(3) 55	(3) 49	(3) 42	(2) 38	2	2	2	1	(75) 420	(74) 399	(73) 348	(70) 283

注)1 ( )内は、現職教員(3年以上の教職経験を有する者)を内数で示す。

# 主要日誌

## ■大学

月日	事	項
平成21年3月2日 月	第14回教務委員会	
平成21年3月3日 火	第15回入学試験委員会	
平成21年3月4日 水	第2回情報メディア教育支援センター運営委員会 第88回教授会 第13回評価支援室会議 第10回衛生委員会 第2回保健管理センター運営委員会 第7回教育実習委員会	
平成21年3月5日 木	第7回学生委員会 第48回大学評価委員会 ファカルティ・ディベロップメント研修会	
平成21年3月6日 金	平成21年度大学院入学者選抜試験（後期募集） 平成21年度学部入学者選抜個別学力検査等（前期日程）合格者発表	
平成21年3月9日 月	平成20年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修（3/9～10）	
平成21年3月11日 水	第75回教育研究評議会 第3回第二期中期目標・中期計画検討特別委員会 2008年度上越教育大学国際交流のつどい	
平成21年3月12日 木	平成21年度学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）	
平成21年3月16日 月	第15回学長選考会議 第22回経営協議会 第5回学校支援プロジェクト実施特別委員会 第3回学校支援プロジェクト連絡会	
平成21年3月17日 火	第15回教務委員会	
平成21年3月18日 水	2008年度教員研修留学生修了証書授与式 第3回学校教育実践研究センター運営委員会	
平成21年3月19日 木	平成20年度学位記授与式，卒業証書・学位記授与式，学生表彰式 平成20年度修了・卒業祝賀会	
平成21年3月22日 日	第49回役員会 第89回教授会 第76回教育研究評議会 第16回入学試験委員会 退職者永年勤続表彰状授与式	
平成21年3月23日 月	平成21年度大学院入学者選抜試験（後期募集）合格者発表 平成21年度学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）合格者発表 知的財産説明会	
平成21年3月25日 水	平成21年度大学院入学者選抜試験（教職大学院第2次募集） 第1回男女共同参画推進委員会	
平成21年3月27日 金	平成21年度大学院入学者選抜試験（教職大学院第2次募集）合格者発表	
平成21年4月1日 水	第50回役員会 第77回教育研究評議会	
平成21年4月7日 火	第1回入学試験委員会 第1回教育実習委員会	
平成21年4月8日 水	平成21年度入学式 平成21年度新生オリエンテーション（4/8～9）	
平成21年4月14日 火	第1回教育実習連絡会	
平成21年4月15日 水	情報セキュリティ講習会 留学生オリエンテーション 海外学生派遣プログラム説明会 第1回教育実習協力校（園）会議	

月日	事	項
平成21年4月16日 木	第4回第二期中期目標・中期計画検討特別委員会	
平成21年4月17日 金	第1回教務委員会	
平成21年4月22日 水	第90回教授会 第78回教育研究評議会 第1回全学教職員集会 第1回学生委員会 第1回フレンドシップ事業企画運営協議会	
平成21年4月23日 木	第1回国際交流推進室会議 第1回男女共同参画推進委員会 第1回学校教育実践研究センター運営委員会	
平成21年4月24日 金	平成21年度新入生合宿研修 (4/24~25)	
平成21年4月28日 火	第14回評価支援室会議 平成21年度新任職員研修 第1回教員養成カリキュラム委員会	

■ 附属幼稚園

月日	事	項
平成21年3月3日 火	ひな祭り会	
平成21年3月13日 金	平成21年度入園児選考検査 (欠員募集)	
平成21年3月17日 火	第15回修了証書授与式	
平成21年3月19日 木	第3学期終業式	
平成21年3月26日 木	離任式	
平成21年4月1日 水	開園記念日	
平成21年4月3日 金	一日入園	
平成21年4月7日 火	第18回入園式	
平成21年4月8日 水	新任式 第1学期始業式	

■ 附属小学校

月日	事	項
平成21年3月17日 火	第3学期終業式	
平成21年3月18日 水	第28回卒業式	
平成21年3月20日 金	欠員入学選考	
平成21年3月26日 木	離任式	
平成21年4月1日 水	開校記念日	
平成21年4月7日 火	新任式 第1学期始業式 第29回入学式	

■ 附属中学校

月日	事	項
平成21年3月4日 水	学校評議員会	
平成21年3月6日 金	第28回卒業証書授与式	
平成21年3月10日 火	2学年修学旅行 (3/10~13)	
平成21年3月24日 火	第3学期終業式	
平成21年3月26日 木	離任式	
平成21年4月1日 水	開校記念日	
平成21年4月8日 水	新任式 第1学期始業式 第29回入学式	





# 上越教育大学学報

第108号 平成21年5月10日発行

上越教育大学総務部総務課

〒943-8512 上越市山屋敷町1番地

電話 025-521-3214 / 3215